本文

官報

第七千八百十九號　明治四十二年七月十九日　月曜日　印刷局

○訓令

陸軍省訓令第二十號

明治四十二年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通增設ス

明治四十二年七月十九日　陸軍大臣　子爵寺內正毅

歲出經常部

款	項	目	節
軍事費			
	修繕費		
		本省ニ	
		△歩兵第二十聯隊屋根修繕	
		△歩兵第九聯隊彈藥庫移轉	

△印增設

內務省告示第八十九號

一赤旗紀念　暴力ト無政府主義

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年七月十七日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十二年七月十九日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

發行者未詳

○告示

內務省告示第八十七號

郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中福岡縣若松警察署ノ部左ノ通リ之ヲ改メ同警察署ノ次ニ折尾警察署ノ部ヲ加ヘ明治四十二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年七月十九日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

署名	管轄區域
若松警察署	遠賀郡ノ內　八幡町　黑崎町　上津役村　折尾村　芦屋町　底井野村　水巻村　洞木村　島門村　岡垣村　香月村　長津村　島郷村ノ內（大字蜑住、宥毛、乙丸、大島居、小數、淺川、拂川、高須、鹽屋ヲ除ク）
折尾警察署	遠賀郡ノ內　折尾村　芦屋町　底井野村　水巻村　洞木村　島門村　岡垣村　香月村　長津村　島郷村ノ內（大字蜑住、宥毛、乙丸、大島居、小數、淺川、拂川、高須、鹽屋）

內務省告示第八十八號

郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中大阪府玉造警察署及南警察署ノ欄內左ノ通リ改メ明治四十二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年七月十九日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

玉造警察署管轄區域欄內大阪市南區ノ內ノ部左ノ通リ改ム

大阪市南區ノ內　內安堂寺町、一丁目、同二丁目、東新瓦屋町、田島町、空堀町、上本町二丁目、同三丁目、北桃谷町、南桃谷町、谷町筋六丁目、同七丁目

南警察署管轄區域欄內大阪市南區ノ內左ノ四箇町ヲ削ル

內安堂寺町二丁目、東新瓦屋町、空堀町、田島町

內務省告示第八十九號

一赤旗紀念　暴力ト無政府主義

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年七月十七日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十二年七月十九日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

遞信省告示第六百八十號

本月二十日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置シ普通通常、普通小包及書留小包郵便物ノ引受竝交付ニ限リ取扱フ

當該郵便局開設期間ハ每年七月二十日ヨリ八月三十一日迄トシ其ノ取扱時間ハ午前四時ヨリ午後八時迄トス但シ閉鎖期間中ノ事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

名稱	位置	遞信大臣　男爵後藤新平　承繼局名
富士山郵便局（フジヤマ）	富士山御殿場口頂上	御殿場郵便局
富士山北郵便局（フジヤマキタ）	富士山吉田口及須走口ヨリ八合目	吉田郵便局（山梨）

遞信省告示第六百八十一號

明治四十年九月遞信省告示第五百九十三號外國宛價格表記書狀及同箱物郵便料金表中「獨逸保護國」ノ部ニ左ノ項ヲ加ヘ且備考二中「カロリン」、「マリアンヌ」、「マルシヤル」、「パラオ」諸島」ヲ追加ス

明治四十二年七月十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置	承繼局名
「カロリン」、「マリアンヌ」、「マルシヤル」、「パラオ」諸島	香港便日本船（香港、海路） 香港便海路（香港、海路）	同前 同前

遞信省告示第六百八十二號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十二年七月十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
輕川郵便局	北海道石狩國札幌郡手稻村

本文 7819 号

第7819号 本文

遞信省告示第六百八十三號
本月二十日限リ左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス
明治四十二年七月十九日 遞信大臣 男爵後藤新平

名稱	位置
輕川電信取扱所	北海道石狩國札幌郡手稻村

正誤
一昨十七日遞信省告示第六百七十三號中第一項樋樋ハ楯樋第三項短形板ハ矩形板ノ孰モ誤 遞信省參事官

○敍任及辭令

○明治四十二年七月十七日
任帝室林野管理局主事補 帝室林野管理局屬從七位勳七等 落合眞佑
敍高等官六等
任海軍中尉 海軍兵曹長正七位勳五等 清水利和
第一高等學校敎授 興津辰矩
（各通）
製鐵所事務官 島岡亮太郎
依願免本官
香川縣立高松中學校敎諭 眞鍋清次郎
（各通）
市立大阪工業學校敎諭 中原正道
願ニ依リ本職ヲ免ス（以上七月十七日內閣）
賜一級俸 侍醫 渡邊悌二郎
宮內官分限令第六條第一項第四號ニ依リ休職被仰付 侍醫 渡邊悌二郎
宮內官分限令第六條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス 補侍醫 竹井靜
賜二級俸（以上七月十七日宮內省） 帝室林野管理局主事補 落合眞佑
免本職補軍馬補充部七戸支部長 軍馬補充部六原支部長陸軍騎兵少佐 岡島茂一郎
軍馬補充部白河支部部員陸軍騎兵大尉 奧山高次郎
免本職軍馬補充部六原支部長心得被仰付
休職被仰付 軍馬補充部七戸支部長陸軍騎兵中佐 櫻田軍太夫
海軍軍令部參謀兼參謀本部部員臨時海軍建築部部員海軍少佐 島內桓太
免兼參謀本部部員（以上七月十七日陸軍省）
免本職並兼職補第一艦隊參謀 海軍軍令部參謀兼臨時海軍建築部部員海軍少佐 島內桓太
高雄乘組被免橋立乘組被仰付 海軍少尉 笠井功
後備役被仰付（以上七月十七日海軍省） 海軍兵曹長 清水利和
廣島監獄詰ヲ命ス 敎誨師 小野線針
裁判所書記登用試驗委員長ヲ命ス 宮崎地方裁判所部長判事 諸隈元次郎
（各通） 宮崎地方裁判所檢事 松野嘉七
宮崎地方裁判所判事 佐野常倫
裁判所書記登用試驗委員ヲ命ス（以上七月十七日司法省）

東京帝國大學醫科大學敎授醫學博士 田代義德
學術上取調ノ爲新潟縣下ヘ出張ヲ命ス（七月十六日東京帝國大學）
學術研究ノ爲上京ヲ命ス 長崎高等商業學校敎授 平尾丹治
長崎高等商業學校敎授 淺野金兵衞
學術研究ノ爲東京京都大阪靜岡ノ三府一縣ヘ出張ヲ命ス（以上七月十四日長崎高等商業學校）
仙臺高等工業學校敎授工學博士 降矢芳郎
學術實地指導ノ爲北海道及福島、巖手、青森、山形、秋田ノ五縣下ヘ出張ヲ命ス
仙臺高等工業學校敎授 久野末五郎
學術實地指導ノ爲茨城、山梨ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス
仙臺高等工業學校敎授 大井上前雄
學術實地指導ノ爲靜岡縣下ヘ出張ヲ命ス
仙臺高等工業學校敎授 篠清三郎
學術實地指導ノ爲兵庫縣下ヘ出張ヲ命ス（以上七月十四日仙臺高等工業學校）
遞信技師 野中禎次郎
遞信技師 蛯子康
（各通）
二級俸下賜
遞信技師 川住銃四郎
遞信技師 中山龍次
遞信技師 近藤茂
遞信技師 堤正義
遞信技師 今岡純一郎
（各通）
三級俸下賜
遞信技師 大島省吾
遞信技師 澁澤元治
遞信技師 內田四郎
（各通）
四級俸下賜
遞信技師 成松德一郎
遞信技師 竹內濟二郎
（各通）
五級俸下賜
六級俸下賜
七級俸下賜
五級俸下賜
遞信技師 森山守吉
遞信技師 全光友太郎
電氣事務官 鈴村秀三
一等郵便局長 加藤敬三郎
一等郵便局長 角源泉
（各通）
二級俸下賜
三級俸下賜
四級俸下賜
五級俸下賜
一等郵便局長 多田稔
一等郵便局長 宇都宮友枝
一等郵便局長 中村治
一等郵便局長 中村厚次郎
一等郵便局長 吉國兼三
一等郵便局長 村田寅之助
（各通）
六級俸下賜

通信事務官 上村鋼一郎
通信事務官 樋野得三
（各通）
二級俸下賜
三級俸下賜
通信事務官 野崎惇
通信事務官 阿部基一
通信事務官 杉野耕三郎
（各通）
四級俸下賜
通信事務官 柳谷酉三
通信事務官 伴善光
（各通）
六級俸下賜
通信事務官補 杉本啓
通信事務官補 加藤此毋
通信事務官補 佐藤仲
（各通）
一級俸下賜
三級俸下賜
四級俸下賜
五級俸下賜
一級俸下賜
通信事務官補 八木鐘次郎
通信事務官補 井出增次
通信事務官補 三宅福馬
通信技師 青山忠治
通信技師 西脇吉久
通信技師 小野房君
（各通）
三級俸下賜
通信技師 佐伯美津留
通信技師 宮井誠吉
通信技師 中村正義
通信技師 初見五郎
通信技師 高崎齊
（各通）
八級俸下賜
海事局技師 荒木賢保
海事局技師 井上要
（各通）
九級俸下賜
海事局技師 德永格
海事局技師 腹卷五郎
海事局技師 宮富賢三
海事局技師 橫山要三
（各通）
十級俸下賜
地方海員審判所審判官 日高林三郎
地方海員審判所理事官 山內幸吉郎
（各通）
五級俸下賜
商船學校敎授 馬場信倫
商船學校敎授 馬場哲次郎
（各通）
七級俸下賜
商船學校敎諭 玉井五岳
通信事務官 小林精實
四級俸下賜
通信事務官 片倉明
通信事務官 平塚米次郎
（各通）
七級俸下賜
通信局業務課勤務ヲ命ス 通信事務官 小林精實
通信局規畫課勤務ヲ命ス 通信事務官 片倉明
經理局主計課勤務ヲ命ス 通信事務官 平塚米次郎
東京海事局在勤ヲ命ス 海事局技師 猪俣精一郎
東京地方海員審判所在勤ヲ命ス 地方海員審判官 猪俣精一郎
函館地方海員審判所在勤ヲ命ス 地方海員審判官 日高林三郎
函館海事局在勤ヲ命ス 海事局技師 日高林三郎
神戸海務署在勤ヲ命ス 海事局技師 荒木賢保
鳥羽海務署長ヲ命ス（以上七月十六日遞信省） 海事局技師 宮富賢三
十二級俸下賜（七月十七日神奈川縣） 神奈川縣立第二中學校敎諭 筧守哉
九級俸下賜（六月三十日熊本縣） 熊本縣立球磨農業學校長 山中壽彌

正誤
本月十五日本欄三二七頁上段武田甲子太郎及腹卷五郎ノ辭令文中池田町ヘノ下ニ臨機ノ二字ヲ脫ス（報告誤） 遞信省參事官

○宮廷錄事

○勅使差遣 一昨十七日故錦鷄間祗候正四位勳二等岩男三郎葬送ニ付キ午前十時勅使トシテ侍從子爵北條氏恭ヲ同人邸ヘ差遣ハサレ白絹二匹ヲ下賜ヒタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著 曩ニ京都ヘ出張ノ北條侍從ハ本月十五日歸京◎滿洲ヘ差遣ノ中村侍從武官長ハ一昨十七日出發セリ
曩ニ月寒及室蘭地方ヘ出張ノ平井步兵第十三旅團長ハ本月十二日、函館室蘭地方ヘ出張ノ上原第七師團長ハ同十三日、千葉縣習志野原ヘ出張ノ藏田野砲兵第一旅團長ハ一昨十七日孰モ歸著◎靜岡縣大野原ヘ出張ノ梅澤近衞步兵第二旅團長ハ本月十三日歸京◎村山步兵第二十一旅團長ハ特命檢閱使ニ隨行ノタメ廣島ニ向ヒ同十五日、岡步兵第二十九旅團長ハ地理實査ノタメ濱松地方ニ向ヒ同十六日孰モ出發、千葉縣習志野原ヘ出張ノ上田近衞師團長及同師團參謀長藤室松次郎ハ同日歸京更ニ近衞步兵第三聯隊第三期敎育檢閱實視ノタメ靜岡縣大野原ニ向ヒ一昨十七日孰モ出發セリ

○官吏死去 現役陸軍砲兵少尉正八位吉永孫三郎ハ本月十一日、豫備海軍大主計正六位勳四等經井三藏ハ同十六日孰モ死去セリ

判決

○特許局審決 高山三四郎ヨリ第四五八五四號特許願拒絕再查定不服審判請求事件ニ付キ去月二十六日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

第一六五一號

審決書

福岡縣嘉穗郡大谷村大字目尾千三百四十八番地
請求人 高山 三四郎

右第四五八五四號特許願拒絕再查定ニ服セス審判請求ヲ爲シタルニ依リ遂審理處

請求人申立ノ要旨ハ願書番號第四五八五四號改良砲彈特許願ニ對シ特許局審查官カナシタル明治四十二年二月二十六日付ノ拒絕再查定ハ不當ナリトノ審決ヲ求ム其理由ハ該查定ノ理由ニ於テ彈推シ(ト)ハ發射ノ後彈丸ト分離スルモノナレハ普通彈丸ノ如ク強固ナル一體ヲ構成セサルヲ以テ裝塡ノ際十分ナル擠入ヲ與ヘ難シト稱スレトモ袋內ノ炸藥ハ強固ニ塡メラレ之ヲ杆(ハ)之ヲ以テ支持シ其後端ニ銅圓鈑ヲ取著ケタルモノナレハ之ニ充分ノ擠入ヲ與ヘ得サル理ナシ又該查定ノ理由ニ於テハ發射時ノ火藥瓦斯ノ壓力ハ到底杆(ハ)ノ能ク支持スル所ニアラスシテ杆(ハ)ハ押損セラレ袋ハ膛內ニテ破裂シ終ハルヘシト稱スレトモ強固ニ塡メラレタル炸藥ハ短縮セス若シ幾分短縮スルモ杆(ハ)モ亦短縮シテ周圍一體ニ張太ルノミニシテ杆(ハ)ノ押損セサルコト明ナリ又銅圓鈑(ニ)モ彈帶ノ代リヲナシ彈推シ(ト)ニ設ケタル帶ト共ニ火藥瓦斯ヲ控塞スルカ故ニ彈ノ膛內ニ破裂スル憂ナシ要スルニ本件改良砲彈ハ水雷ヲ大砲ニテ搬送スルト同一ノ效ヲ奏スル新規ノ發明ナリ云々ト云フニ在リ

審查官答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タストノ審決ヲ求ム其理由ハ本件改良砲彈ハ彈丸ノ頭部ヲ形成スル實彈及ヒ彈底ヲ形成スル銅圓鈑ノ重量ヲ前後ニ支持スルモノトシテハ彈體ノ撓歪ニ抗スル力明カニ薄弱ナリ故ニ普通彈丸ノ如ク彈推シテ十分ニ擠入シ彈帶ノ氣密ヲ保ツコト難ク又彈推シ(ト)ニ依テ壓彈丸ヲ擠入スル方法ニテハ發射瓦斯ノ塞過極メテ不確實ニシテ發射瓦斯彈推シノ前方ニ逸漏シ銅圓鈑ヲ噴爛セシメ護膜囊燃損シ炸藥破裂スルノ危險アリ又發射瓦斯ノ壓力ハ極メテ強大ナレハ其全壓力ヲ受クルニ於テハ纖小ナル杆(ハ)ノ能ク堪ユル所ニアラス變歪又ハ破裂シテ發射ノ目的ヲ達セサルコト明ナリ要スルニ本件改良砲彈ハ實行シ難キ空想ニ止マリ彈壁ノ強度重量ノ按配等ニ關シ毫モ考慮ヲ費ヤサレサルモノナルカ故ニ特許法ニ依リ特許ヲ與フヘキ發明ニアラス云々ト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

本件特許願ニ係ル改良砲彈ハ彈體ニ於ケル重量ノ按排、強弱ノ如何ヲ適當ニ考慮セラレサル構成ニ係リ彈體ノ撓歪ニ抗スル力薄弱ナルノミナラス銅圓鈑及ヒ彈推シハ以テ發射瓦斯ヲ氣密ニ保ツヲ確保スヘカラス炸藥囊ノ中央ヲ貫通スル軸杆ハ發射瓦斯ノ壓力ヲ耐ユルモノト認メ難シ從テ之ヲ審查官カ實行シ難キ未熟ノ考案ニシテ發明ヲ構成セサルモノナリト認メタルハ至當ニシテ之ニ特許ヲ與フヘカラスト查定セルハ不當ニアラス請求人ハ徒ラニ上記ノ缺點ナキヲ主張スト雖モ取ルニ足ラス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

願書番號第四五八五四號改良砲彈特許願ニ對シ特許局審查官ノ爲シタル拒絕再查定ハ不當ニアラス

明治四十二年六月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺 藤市郎
特許局事務官 松田 啓太郎
特許局事務官 村山 小次郎

警察

○出火 去月三十日午前九時三十分北海道石狩國上川郡愛別村字越路二十八線ヨリ出火全燒一戶（一棟）、燒死者一同時五十分鎭火原因過失ナリ

○陸海軍

○學生退校 陸軍獸醫學校第二期甲種士官學生左記十三人本月十六日練習科目ヲ修得セシニ因リ退校セリ（陸軍省）

陸軍一等獸醫 石橋 久吉
陸軍一等獸醫 香山 榮一
陸軍一等獸醫 鈴木 善喜
陸軍一等獸醫 一戶 精一
陸軍一等獸醫 西宮 藤彥
陸軍一等獸醫 日高 武二
陸軍一等獸醫 佐野 信三郎
陸軍一等獸醫 鳴海 莵八
陸軍一等獸醫 安住 健次郎
陸軍一等獸醫 田熊 浦一郎
陸軍一等獸醫 青山 幸信
陸軍一等獸醫 梅村 慶郎
陸軍一等獸醫 石崎 友吉

○軍艦發著 各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
最上	七、一六	竹數		
鎭遠	同		二見	横須賀
八重山	同	志布志		
霰、漣、夕霧、叢雲、陽炎	同	松眞		
豐橋	同	吳		
隅田	同	長沙		
晉要	七、一七		志布志	別府
松江	同		眞岡	ウシヨロ
春雨	同		下田	津
東雲	同		佐世保	竹數
伊吹	同		吳	廣島灣
武藏	同		沙那	藥取
秋津洲	同		釜山	元山

○學事

○卒業證書授與 京都帝國大學ニ於テ本月十四日卒業證書授與式ヲ擧行シ法科大學、京都醫科大學、文科大學及理工科大學ノ卒業學生二百七十八ニ卒業證書ヲ授與セリ其次第等左ノ如シ（文部省）

當日依仁親王殿下御沙汰ニ依リ御臨場アラセラレ又北條侍從ヨリ優等卒業學生ニ恩賜品ヲ授與セラル文部大臣代理岡田文部次官其他多數ノ來賓アリ卒業學生及優等卒業學生ノ族籍、氏名左ノ如シ

法科大學

（昨四十一年十二月卒業）

秋田縣士族 石川 聰彌
愛知縣平民 阪野 憲治
大分縣平民 塚崎 直義
京都府平民 栗山 精一
長野縣士族 矢崎 總治
東京府士族 松田 義雄
福岡縣平民 松居 甚一郎
三重縣士族 喜多村 清
東京府士族 木村 安麿
鹿兒島縣士族 肥後 藤吉
兵庫縣平民 內海 光太郎

（本月卒業）

熊本縣士族 伊藤 政喜
岐阜縣平民 今井 令吉
鳥取縣平民 生田 廣藏
德島縣平民 岩佐 楯二
三重縣平民 稻田 競
東京府士族 岩永 裕吉
東京府平民 石井 波平
東京府士族 石塚 網太郎
福岡縣平民 馬場 藤市
廣島縣平民 細川 兵一
香川縣平民 豐田 著壽
香川縣平民 德田 昌一
千葉縣平民 岡本 爲三郎
福島縣士族 大內 匡
京都府士族 岡本 經紀
京都府平民 岡田 勇次郎
大阪府平民 折口 進
富山縣平民 大間知 圓兵衛
和歌山縣平民 和田 駿
高知縣平民 陰山 登
滋賀縣平民 河添 鑑
山形縣平民 神谷 昌雄
廣島縣平民 河野 曉
佐賀縣士族 甲斐 熊彥
和歌山縣士族 川口 弘
新潟縣平民 川田 治一
山口縣平民 加藤 金輔
山形縣平民 横山 正男
福岡縣士族 吉田 清
廣島縣平民 吉田 眞策
山口縣平民 吉原 月香
京都府士族 吉雄 永壽
鹿兒島縣士族 田代 資清
廣島縣平民 玉木 三郎
鹿兒島縣士族 高崎 秀雄
滋賀縣平民 多胡 庄次
長野縣平民 田村 貞亮
廣島縣平民 土谷 巖
大阪府平民 浦野 義隆
奈良縣平民 上村 務
京都府平民 野田 敬之助
兵庫縣平民 野草 省三
埼玉縣平民 久米 治平
京都府平民 栗村 平三郎
新潟縣士族 山脇 既治
東京府平民 山田 正三

滋賀縣平民 山村 孝之祐
東京府華族 柳澤 恭雄
鹿兒島縣平民 松尾 榮一
熊本縣平民 福島 正雄
京都府士族 小森 政之
大阪府平民 木南 正宣
滋賀縣平民 小泉 眞助
熊本縣士族 江藤 繁雄
石川縣平民 曄道 文藝
大阪府平民 寺田 見龍
福岡縣士族 靑木 利光
和歌山縣士族 安藤 中六
京都府士族 淺田 暢一
群馬縣平民 新井 朋重
群馬縣平民 畔見 又四郎
富山縣士族 佐久間 松次郎
山口縣士族 佐伯 大亮
大阪府平民 木村 敎諦
巖手縣士族 菊池 第三
山形縣平民 三矢 正革
宮崎縣士族 三浦 虎雄
石川縣平民 生水 乙松
兵庫縣平民 城 榮太郎
佐賀縣平民 調 雅亮
鹿兒島縣士族 澁谷 清德
京都府士族 新庄 祐次郎
茨城縣士族 下野 遺善
京都府士族 平井 宣英
岡山縣平民 守安 恒太郎
岐阜縣平民 森 右作
東京府平民 關谷 善一
岡山縣平民 角南 美貴
兵庫縣平民 菅原 眷二
京都府平民 杉原 瑝太郎
群馬縣士族 杉本 亮
千葉縣平民 鈴木 春梓

京都醫科大學

醫學科

（昨四十一年十一月卒業）

東京府平民 石井 廣三郎
愛知縣平民 稻垣 助次郎
東京府平民 井上 耕也
福島縣士族 伊東 義彥
岐阜縣平民 岩田 務
京都府平民 稻岡 富太郎
京都府平民 飯塚 亮之助
群馬縣平民 濱野 健
新潟縣平民 長谷川 信一
福岡縣平民 峰谷 卓三
福岡縣平民 原田 隆
和歌山縣平民 西岡 道雄
新潟縣平民 仁保 門助
愛知縣平民 月谷 銀三郎
愛知縣平民 土井 留之助
大阪府平民 尾崎 眞胤
奈良縣平民 岡林 秀一
大阪府平民 大塚 輝雄
東京府士族 小川 六三郎
栃木縣士族 渡邊 茂
大分縣平民 渡邊 篤
神奈川縣平民 加藤 蕭三
岡山縣平民 川口 繁太郎
廣島縣平民 金尾 惟敍
長野縣平民 河內 健一
愛知縣平民 加藤 博之
廣島縣平民 片山 泰吉
佐賀縣平民 加藤 政太
埼玉縣平民 橫田 道之助
大阪府士族 竹村 易二
高知縣平民 武田 鹿雄
兵庫縣平民 田中 文男
大阪府平民 田中 正治
德島縣平民 圓田 要
岐阜縣平民 坪井 藍輔
新潟縣平民 塚野 豐次郎
青森縣士族 成田 昌俊
愛知縣平民 中西 培一郎
愛媛縣士族 中原 溫
長野縣士族 迎 諧
岐阜縣平民 村上 進
東京府平民 黑田 知俊
高知縣士族 桑原 政榮
巖手縣平民 八木 精一
東京府士族 松島 正則
京都府平民 松尾 巖
福井縣平民 松井 實
長崎縣士族 藤川 勝馬
山口縣士族 福田 康甫
滋賀縣平民 布施 卷太郎
東京府平民 小柳 美三
愛媛縣平民 菰田 繁次郎
京都府平民 小石 暢太郎
岐阜縣平民 小南 又一郎
大分縣平民 小屋 經雄
鹿兒島縣士族 小林 和三郎
鹿兒島縣平民 帖佐 彥四郎
鹿兒島縣士族 有馬 昇平
千葉縣平民 秋田 哲
大分縣平民 有永 義孝
福井縣士族 淺見 誓堂
巖手縣平民 佐藤 壯夫
愛媛縣平民 佐野 熊翁
島根縣平民 左田野 悟
滋賀縣平民 北脇 滿三
栃木縣士族 三原 新二
島根縣平民 三島 澁造
熊本縣平民 滿田 久治
廣島縣士族 三宅 秀之助
島根縣平民 水津 信治
兵庫縣平民 宿南 昌吉
山口縣平民 莊 鳳四郎
島根縣平民 鹽田 敏志
長野縣平民 平林 儉吾
岡山縣平民 平田 逵次郎
高知縣士族 森本 正志
兵庫縣士族 鈴木 正
廣島縣平民 杉本 砂一

（本年二月卒業）

山形縣平民 菊地 茂七

文科大學

哲學科（本月卒業）

印度哲學史專攻

福井縣平民 羽溪 了諦

心理學專攻

宮城縣平民 千葉 胤成
京都府平民 藤澤 乙夫

倫理學專攻

福井縣平民 多田 淳良
福井縣平民 熊谷 亮照

教育學教授法專攻

長野縣平民 野明 敏治
兵庫縣平民 河本 修三
愛媛縣平民 大西 友太
福岡縣平民 福永 眞成

美學美術史專攻

滋賀縣平民 澤村 專太郎

宗教學專攻

宮城縣平民 瀧浦 文彌

理工科大學

（昨四十一年十月卒業）

機械工學科

京都府士族 太田 七郎
高知縣士族 阪本 鷹雄

機械工學科（同年十一月卒業）

長崎縣平民 服部 卯三郎
奈良縣平民 藏田 次郎
兵庫縣平民 里深 新八

電氣工學科

山口縣平民 國弘 長重

（同年十二月卒業）

物理學科

福岡縣平民 嶺 亮介

製造化學科

岡山縣平民 難波 元弘

土木工學科

佐賀縣士族 森川 藤次

機械工學科

兵庫縣士族 岩田 政一
山口縣士族 湯淺 徹世
山梨縣平民 渡邊 新

電氣工學科

新潟縣士族 今井 常平
福井縣士族 小島 喜久馬
愛知縣平民 內田 秀四郎

（本年二月卒業）

電氣工學科

石川縣士族 加藤 博

（本年三月卒業）

純正化學科

三重縣士族 藤堂 眞讓
福岡縣平民 福間 健衆

機械工學科

東京府士族 石原 泰太郎

（本年五月卒業）

電氣工學科

長野縣平民 丸山 英一

（本月卒業）

數學科

岡山縣平民 阿部 八代太郎
京都府平民 秋山 武太郎

物理學科

福井縣平民 大井 守一
京都府士族 横田 則一
京都府平民 玉城 嘉十郎

純正化學科

佐賀縣平民 西依 六八
石川縣平民 吉本 豐二
京都府平民 上田 兼二郎
京都府平民 松宮 馨
廣島縣平民 荒古 勝之助
大阪府平民 北脇 市太郎
岐阜縣平民 水戶 開三

製造化學科

京都府平民 入江 繁太郎
山口縣平民 萩野 友助
東京府平民 西川 忠雄
山梨縣平民 岡 信吉
京都府平民 岡本 辰次郎
京都府平民 織田 經二
愛媛縣平民 門多 道別
富山縣平民 正來 遊方
滋賀縣平民 福島 郁三
滋賀縣平民 藤野 太治郎
岡山縣平民 遠藤 三武郎
奈良縣平民 赤塚 音太郎
福島縣士族 佐藤 憲治
埼玉縣士族 全田 積

土木工學科

京都府平民 今井 久吉
山口縣平民 渡邊 一眞
東京府士族 上倉 俊
鹿兒島縣平民 丸山 芳樹
岐阜縣平民 清水 三藏
東京府平民 廣澤 兼次郎

機械工學科

京都府士族 井上 高富
愛媛縣士族 今橋 又吉
愛知縣平民 穗積 善三郎
東京府士族 大島 亮治
德島縣平民 棚橋 啓三
鳥取縣士族 村山 威士
神奈川縣平民 山崎 元英
兵庫縣平民 福田 門彌
大阪府平民 小林 長輔
大阪府平民 秋田 榮治郎
愛知縣士族 秋山 章一
三重縣平民 菊川 清作
大阪府平民 木谷 安次郎
熊本縣士族 宮川 之雄
福岡縣平民 木村 三郎

電氣工學科

巖手縣士族 本間 學
福井縣平民 大和田 信吉
大阪府平民 岡 義明
大分縣平民 渡邊 新十郎
福岡縣士族 勝屋 平三郎
石川縣士族 橫山 芳松
愛媛縣平民 高石 辨治
兵庫縣平民 中河 直惠
群馬縣士族 中山 千顯
山口縣平民 柳屋 佐祐
奈良縣平民 松村 繁太郎
廣島縣平民 吉川 忠
廣島縣平民 鈴川 貫一
茨城縣平民 鈴木 德之助

採鑛冶金學科

兵庫縣平民 梶木 五郎
佐賀縣平民 栗山 辰治
京都府平民 倉內 松造
宮崎縣士族 直井 武好
東京府士族 松下 長久
廣島縣平民 佐上 京作

優等卒業學生

法科大學

曄道 文藝
菅原 眷二
山田 正三

京都醫科大學

松尾 巖
尾崎 眞胤

文科大學

哲學科

羽溪 了諦
野明 敏治

理工科大學

機械工學科

菊川 清作

數學科

阿部 八代太郎

物理學科

玉城 嘉十郎

○特待生選定 京都帝國大學分科大學ニ於テ本月十四日左記二十八ヲ來學年ノ特待學生ニ選定セリ

第7819号 本文

第7819号 本文

法科大學
政治學科 池内 善雄 / 野口 榮三郎 / 石井 與三郎 / 小島 昌太郎

京都醫科大學
結城 善平 / 永多 元俊 / 天津 創

文科大學
哲學科 小野寺 精一郎 / 高田 保馬 / 赤松 智城 / 錦田 靜富
史學科 西田 直次郎
文學科 春日 政治

理工科大學
數學科 園 正造
物理學科 野滿 隆治
純正化學科 小林 松助 / 堀場 信吉
土木工學科 花房 周太郎
採鑛冶金學科 中村 太郎 / 矢部 忠治

第四高等學校ニ於テ今般左記十一人ヲ來學年ノ特待生ニ選定セリ

第一部第三年 古田 正武 / 赤間 信義 / 米林 純一 / 神田 外茂夫
第二部第三年 元尾 大殿
第三部第三年 田宮 猛雄
第一部第二年 文室 重敬 / 土井 滋治 / 倉知 行禮
第二部第二年 清水 武雄
第三部第二年 原 勇三

第六高等學校ニ於テ左記九人ヲ來學年ノ特待生ニ選定セリ(以上文部省)

第一部三年 山谷 省吾 / 中島 重
第二部三年 上野 秀吉
第三部三年 前田 利實
第一部二年 土井原 堯二 / 石井 直三郎
第二部二年 山本 文雄 / 石原 繁行
第三部二年 鈴木 朝輝

○財政

○外國貿易月表抄 大藏省ノ調査ニ係ル去月中外國貿易月表抄左ノ如シ(去月十六日及本月十日本欄內參看)(大藏省)

貨物輸出入

		六月 四十二年	六月 四十一年	一月以降累計額 四十二年	一月以降累計額 四十一年	一月以降累計額 四十年
輸出	內國產	圓 三一、六三五、二七六	圓 三四、〇五五、二九五	圓 一八五、六三〇、四五〇	圓 一七一、六〇八、四五八	圓 一九五、二三五、二五八
	外國產	二六七、三七二	二二五、六七九	一、三六九、八四五	一、四一一、七四三	一、七一四、九四三
	計	三一、九〇二、六四八	三四、二八〇、九七四	一八七、〇〇〇、二九五	一七三、〇二〇、二〇一	一九六、九五〇、二〇一
輸入	外國產	三二、九五八、〇八三	三三、八七五、九一八	二一三、九九二、三九四	二五二、五七四、五八七	二六四、七〇五、六二〇
	內國產	七四、一〇二	一二七、六二七	五二五、五八一	四二一、二三四	五五八、二八七
	計	三三、〇三二、一八五	三四、〇〇三、五四五	二一四、五一七、九七五	二五二、九九五、八二一	二六五、二六三、九〇七
輸出入合計		六四、九三四、八三三	六八、二八四、四八九	四〇一、五一八、二七〇	四二六、〇一六、〇二二	四六二、二一四、一〇八
輸出超過		—	二七七、三九九	—	—	—
輸入超過		一、一二九、五三七	—	二七、五一七、六八〇	七九、九七五、六二〇	六八、三一三、七〇六

金銀輸出入

		六月 四十二年	六月 四十一年	一月以降累計額 四十二年	一月以降累計額 四十一年	一月以降累計額 四十年
輸出	金貨及金地金	—	一五、〇〇〇	一、三四五、七五〇	一、七〇六、三六九	八、三八一、三九二
	銀貨及銀地金	一一、〇〇二	一一、八二一	五八、七六一	四九、一六七	三七、六三六
	計	一一、〇〇二	二六、八二一	一、四〇四、五一一	一、七五五、五三六	八、四一九、〇二八
輸入	金貨及金地金	二、九三三、九〇七	二、六八九、三七九	六、一六二、一二三	一一、〇四一、九一三	二、七〇二、四九一
	銀貨及銀地金	三四、二八八	五、二六二	二二四、一六〇	四一三、八一〇	三二一、〇四四
	計	二、九六八、一九五	二、六九四、六四一	六、三八六、二九二	一一、四五五、七二三	三、〇二三、五三五
輸出入合計		二、九七九、一九七	二、七二一、四六二	七、七九〇、八〇三	一三、二一一、二五九	一一、四四二、五六三
輸出超過		—	—	—	—	五、三九五、四九三
輸入超過		二、九五七、一九三	二、六六七、八二〇	四、九八一、七八一	九、七〇〇、一八七	—

貿易船舶出入

		四十二年六月 隻	噸	四十一年六月 隻	噸	累計 四十二年 隻	噸	累計 四十一年 隻	噸	累計 四十年 隻	噸
入港	汽船	八九〇	一、七二〇、九五〇	八九九	一、七七〇、〇五三	四、九八四	九、八六一、三三九	五、一七一	一〇、〇八九、〇三三	五、三五七	九、九〇九、二五五
	帆船	一九〇	四、八六六	二一三	八、八六三	一、〇四五	五四、五九〇	一、二四三	四〇、四八四	一、一五九	五八、〇六八
	計	一、〇八〇	一、七二五、八一六	一、一〇二	一、七七八、九一六	六、〇二九	九、九一五、九二九	六、四一四	一〇、一二九、五一七	六、五一六	九、九六七、三二三
出港	汽船	八九九	一、七一一、八三九	八八九	一、七六四、八八六	五、〇四四	九、九六八、二三三	五、一三八	一〇、〇四八、八三八	五、三三四	九、八五二、五三〇
	帆船	三六四	三〇、三四八	三六六	二九、九七四	一、三四三	八九、〇六七	一、五五九	六九、四二六	一、四七四	八四、六六六
	計	一、二六三	一、七四二、一八七	一、二五五	一、七九四、八六〇	六、三八七	一〇、〇五七、三九〇	六、七一七	一〇、一一八、二六六	六、七九八	九、九三七、一九六

收稅

	四十二年六月	四十一年六月	累計 四十二年	累計 四十一年	累計 四十年
輸入稅	圓 二、六八四、九八三	圓 三、四〇六、五四七	圓 一七、七一三、九一八	圓 二四、八九二、二四二	圓 二三、八〇〇、七〇二
噸稅	四八、九三六	五七、四六七	二七八、五六四	三一〇、三六八	三〇二、四二一
諸收入	二八、一五九	二五、三一八	二一八、一六五	一六三、九五七	一八九、〇〇六
計	二、七六二、〇七八	三、四八九、三三二	一八、二一〇、六四七	二五、三六六、五六七	二三、二九二、一二九

○役員認可 石塚六三郎ヲ直江津商業會議所會頭ニ、小林正信ヲ同副會頭ニ、瀧澤逸作、佐藤庄作、佐藤安五郎、石塚金助、玉田幸作、和田慶作、下村作左衛門ヲ同常議員ニ當選認可申請ニ對シ本月十六日認可セリ(農商務省)

○產業

○農商務省商品陳列館景況 農商務省商品陳列館去月中ノ景況左ノ如シ(農商務省)

開館日數 三十日 來觀人員 (內國人 八、七二六 外國人 九七) 合計 八、八二三人 一日平均 二九四人

新著品

同月中陳列ノタメ收受シタル標本ハ總計百二十四點ニシテ其內譯左ノ如シ

一	玩具(九點)	東京	堀田德太郎出品
二	魚油類(三十九點)	神奈川	橫濱魚油株式會社出品
三	屛風類(八點)	兵庫	中井商店出品
四	花莚類(十三點)	同	花莚檢查所出品
五	蓆製品(十九點)	東京	帝國製蓆株式會社出品
六	「テープ」類(十七點)	同	渡邊鐵三郎出品
七	柱掛及硯石(二點)	巖手	太田專治出品
八	清國製棉布見本(九點)	外務省ヨリ同送	
九	日本產輸出百合ノ圖(一點)	在米國海外實業練習生谷口新次郎ヨリ送付	
十	「ピータ」(麻ノ類)(一點)	在哥倫比亞州ディオドロ、サンチエツ寄贈	
十一	茶函用「レベル」紙(六點)	農商務省農務局ヨリ同送	

錄事

標本讓渡 當業者ノ參考品トシテ新潟縣ヘ九十點、宮城縣ヘ八十六點、秋田縣ヘ五十七點、香川縣ヘ六十九點、大分縣ヘ九十七點ヲ孰モ讓渡セリ

標本貸與 參考ノタメ標本ヲ貸與セルハ左ノ如シ

貸與先	品種	點數	目的
新潟縣	外國產各種工藝品	四四	物產陳列館參考用
東京府	佛國及伊國產各種織物	三四	當業者參考用
山梨縣	同	三五	甲斐絹同業組合標本陳列場參考用
青森縣	外國產各種工藝品	五三	物產陳列場參考用
和歌山縣	同	三三	市立商業學校參考用
宮城縣	外國圖案雜誌	九	仙臺漆工競技會竝ニ當業者參考用

○鑛業事項 鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ(農商務省)

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
秋田試登錄第四百二十三號	鹿角郡錦木村地內	金、銀、鉛、硫化鐵	坪 一五八、一五四	秋田縣鹿角郡七瀧村 澤田善次郎	七、五	試掘願許可
福島試登錄第四百二十五號	石城郡山田村地內	石炭	一四一八、九一八	東京市京橋區明石町 楢田無煙炭礦株式會社	七、五	同
秋田試登錄第四百二十四號	北秋田郡大葛村地內	金、銀、銅	八六四、六八七	秋田縣北秋田郡大館町 加藤丈夫 外一人	七、五	同
福島試登錄第四百二十六號	石城郡上遠野村、山田村地內	石炭	四七〇、七二一	東京市日本橋區坂本町 牛田鑛山合資會社	七、七	同
福島試登錄第四百二十七號	雙葉郡上岡村、富岡町、龍田村地內	同	六一三、九五六	福島縣相馬郡小高町 牛谷清谿	七、七	同
秋田試登錄第四百二十五號	鹿角郡小坂村地內	金、銀、銅、鉛	四四八、四〇〇	東京市牛込區天神町 富樫清 外一人	七、七	同
青森試登錄第百四十九號	青森縣西津輕郡岩崎村、秋田縣山本郡八森村地內	銀	一二九二、五六八	青森縣西津輕郡深浦村 黑瀧惣太郎	七、九	試掘鑛區增區願許可
巖手試登錄第五百三十六號	氣仙郡日頃市村地內	銅、鐵	一八五、八三三	巖手縣氣仙郡日頃市村 吉川浩 外一人	七、九	試掘願許可
福島試登錄第四百二十八號	南會津郡伊北村地內	銀、銅	三九七、五六八	東京市淺草區老松町 小林清一郎	七、一〇	同

試掘不許可

出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日	事由
宮城縣本吉郡新月村地內	金、銅	坪 四五六、三一六	宮城縣本吉郡氣仙沼町 高橋悅之丞	七、七	出願ノ當時宮城縣試登錄第百四十九號金銅鑛試掘鑛區ト全部重複シタルニ付キ試掘願不許可

試掘權取消

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	取消及登錄ノ月日	事由
福島試登錄第二百九十五號	相馬郡山上村地內	銅	坪 三〇四、六八三	東京市淺草區淺草橋場町 吉田善右衛門	七、五	鑛區稅不納ニ付キ鑛業法第四十一條ニ依リ試掘權取消
福島試登錄第二百十七號	耶麻郡早稻谷村、木幡村地內	銀、銅、鉛	九〇四、九一〇	同市芝區高輪南町 近藤晟男 外一人	七、五	同
福島試登錄第二百十八號	同	同	九四二、三〇〇	同上	七、五	同
福島試登錄第二百九十九號	安達郡高川村地內	石炭	四五六、一〇〇	福島縣耶麻郡猪苗代町 飯塚久吉 外二人	七、六	同

○衞生

○臺灣「ペスト」患者 臺灣島ニ於ケル去月二十五日ヨリ本月一日ニ終ル一週間內ノ「ペスト」患者ハ嘉義廳一、鹽水港廳三、臺南廳一ニシテ本年初發以來ノ累計患者千七十ナリ(內務省)

○在外公館報告

○貨幣ニ關スル羅甸同盟追加條約 貨幣ニ關スル羅甸同盟追加條約ニ關シ巴里駐在副領事木島孝藏ヨリ去月九日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ(外務省)

千九百八年十一月四日巴里ニ於テ佛蘭西、伊太利、白耳義、瑞西及希臘五箇國ノ全權委員ニ依リテ調印セラレタル貨幣ニ關スル羅甸同盟追加條約ハ當佛國ニ於テハ兩院ヲ通過シ本年三月二十二日ヲ以テ法律トシテ施行スル旨公布セラレタリ

同條約ニ關シ領事官補河合博之ノ作成ニ係ル報告書左ノ如シ

貨幣ニ關スル羅甸同盟追加條約

約二年前ヨリ商議中ナリシ貨幣ニ關スル羅甸同盟追加條約ハ昨年十一月四日巴里ニ於テ白耳義、佛蘭西、伊太利、瑞西及希臘ノ五箇國間ニ調印セラレタリ

抑〻羅甸同盟ハ千八百六十五年十二月二十三日白耳義、佛蘭西、伊太利、瑞西間ノ條約ニ基因シ當初ノ目的ハ銀ノ騰貴ニ對シ金銀兩本位制度ヲ維持スルニ在リキ同條約ニ依リ同盟諸國間ニ在リテハ相互ニ其金銀貨ノ流通ヲ認ムルト同時ニ二法、一法、五十參及二十參ノ銀貨ハ品位ヲ九百位ヨリ八百三十五位ニ貶シ其鑄造ヲ政府ニ限リ其強制通用ハ個人間ニ在リテハ五十法發行政府ノ金庫ニ對シテハ百法トシ全ク補助貨ノ性質ヲ有スルモノトシ又各政府ノ發行額ハ自國ノ人口一人ニ付キ六法ノ割合ニ制限セリ

然ルニ千八百七十年後銀ノ低落甚シカリシ故ニ同盟諸國ハ其制度ヲ維持スルタメ千八百七十八年十一月五日ノ條約ニ依リ五法ノ本位銀貨ノ鑄造ヲ停止シ且ツ千八百六十五年ノ條約ノ期限ヲ千八百八十六年一月一日マテト定メタリ然ルニ千八百八十五年十一月六日ノ條約ハ此期限ヲ更ニ千八百九十一年一月一日マテ延長シ且ツ若シ此期限ヨリ一箇年前ニ廢棄ヲ申出テサルトキハ默約ニ依リ當然次年ヘ繼續スヘク而シテ廢棄申出後ノ一月一日ヨリ一箇年間有效ナルヘシト規定シタリ羅甸同盟ノ現存スルハ蓋シ此效力ニ基クモノナリ

其後時々變更アリタリト雖モ要ハ左ノ二點ニ歸ス

第一 伊太利ハ前後二回外國貿易ノ不利ヲ蒙リ貨幣流出ヲ來シ羅甸同盟ノ結果補助貨モ白耳義、佛蘭西、瑞西ニ流出シ爲ニ困却ヲ極メ條約ニ依リ千八百七十八年ニ約七千八百万法ヲ千八百九十三年ニハ一億餘法ノ送還ヲ受ケ千八百九十三年十一月十五日ノ條約ニ依リ他ノ同盟諸國ニ於テ伊太利補助貨ノ流通ヲ停止シ又此額ヲ以テ保證トシ小額ノ紙幣ヲ發行シタリ

第二 當初ハ補助貨ヲ人口一人ニ付キ六法トシタレトモ千八百七十八年及千八百八十五年ノ改正ニ依リ各國ノ發行額ハ左ノ如クナリキ

佛蘭西	二六四、〇〇〇、〇〇〇法	伊太利	二〇二、〇〇〇、〇〇〇
希臘	一五、〇〇〇、〇〇〇	白耳義	四〇、〇〇〇、〇〇〇
		瑞西	二五、〇〇〇、〇〇〇

右ノ額ハ實際取引上ノ須要ニ應スル能ハス白耳義、佛蘭西ハ最モ其不足ニ苦ミタリ且ツ佛國ハ事情ノ許ス限リ其殖民地ニ本國ノ貨幣制度ヲ適用シタルヲ以テ阿非利加沿岸及マダガスカル島ニ其貨幣ヲ輸出スルノ必要ヲ生シ各國ト協議ヲ重ネ千八百九十七年十月二十九日ノ條約ニ依リ殖民地人口ヲモ加算シ人口一人ニ付キ七法ト定メタリ其結果

第7819号 本文

佛蘭西ハ　一三〇、〇〇〇、〇〇〇法　白耳義ハ　六、〇〇〇、〇〇〇
伊太利ハ　三〇、〇〇〇、〇〇〇　瑞西ハ　三、〇〇〇、〇〇〇
ヲ增加セリ

獨リ希臘ハ尙ホ紙幣ヲ固執シ新ニ補助貨ヲ鑄造スルコトヲ放棄シタリ同國ハ千五百万ノ發行額ニ對シ千八十万ヲ鑄造シタルノミナリキ

此等ノ新貨幣ハ同額ノ五法本位銀貨ノ改鑄ニ依ルヘク只瑞西ノ請求ニ依リ三百万タケハ地金ヲ用フルコトヽシタルモ補助貨鑄造ヨリ生スル利得ハ貨幣流通維持ノ資金トスヘキヲ約セリ

今同ノ新條約モ右ノ二點ヲ追フモノニシテ其要旨ヲ摘出スレハ左ノ如シ

第一　本追加條約公布ノ時ヨリ各調印國ノ補助銀貨ノ割合ハ人口一人ニ付キ十六法トシ本條約執行ノタメ人口ハ左ノ如ク算定ス

白耳義　七百三十万　　希臘　二百六十五万
佛蘭西　三千九百三十一万　伊太利　三千三百八十万　瑞西　三百六十万

佛領阿非利加殖民地及占領地（アルジェリア及マダガスカル島ヲ含ム）ノ人口ハ二千万トシ白耳義領公果ノ人口ハ千万トス但シ此數字ハ外交上ノ一致ニ依リ變更スルヲ得

第二　佛蘭西及白耳義ハ新補助貨鑄造ノタメニ各〻自國ノ紋章ヲ有スル五法本位銀貨ノミヲ使用スルコトヲ約ス但シ白耳義ハ百九十万法マテハ前公果自由國ノ發行シタル銀貨ヲ使用スルヲ得ヘク希臘、伊太利及瑞西ハ比較的少數ノ五法銀貨ヲ有スルニ依リ地金ヲ使用スルコトヲ得ヘク瑞西ハ地金ノミヲ希臘ハ每年ノ鑄造額ノ四分ノ三マテ伊太利ハ每年ノ鑄造額ノ三分ノ一マテ（但シ人口一人ニ付キ十二法ヲ示スニ至リテ止ム）地金ヲ使用スルヲ得ヘキモ其他ノ部分（希臘ノ四分ノ一、伊太利ノ三分ノ二）及伊太利カ人口一人ニ付キ十二法ヲ鑄造セル後ハ各〻自國ノ紋章ヲ有スル五法銀貨ヲ使用スルヲ要ス

第三　希臘ハ現在同國發行額千五百万「ドクラム」ノ外千八百九十七年十月二十九日ノ條約ニ依リ他ノ諸國ニ許サレタル三百万ヲ地金ノミヲ以テ鑄造スルヲ得而シテ補助貨鑄造ニ依リテ生スル利得ハ貨幣流通維持ノ資金ニ充ツヘシ

第四　同盟諸國ハ每年人口一人ニ付キ六十參以上ノ補助銀貨ヲ鑄造スルヲ得ス例外トシテ希臘ハ前記千五百万ノ中未鑄造ノ部分及前記三百万ハ本條約ニ定メタル發行額ト獨立シテ卽時ニ鑄造スルコトヲ得

第五　從來已ニ鑄造セラレタル額ハ人口一人ニ付キ十六法ノ新發行額中ニ算入ス

第六　伊太利補助貨幣ハ今後モ他ノ諸國ニ於テ通用セサルヘシ

第七　白耳義、佛蘭西、伊太利及瑞西各政府ハ其版圖內ニ於ケル流通貨幣ヨリ二法、一法、五十參及二十參ノ希臘銀貨ヲ回收シ之ヲ希臘政府ニ交付シ希臘政府ハ之ヲ領收シ其價額ヲ補償スルコトヲ約ス

本條約施行ノ日ヨリ四箇月後ハ白耳義、佛蘭西、伊太利及瑞西ノ金庫ハ希臘補助銀貨ヲ受取ラサルヘシ但シアルジェリア及佛領殖民地ヨリ來レル此種ノ貨幣ニ對シテハ右期間ヲ六箇月トス

右ノ期間經過一箇月後ハ希臘政府ハ隨時受取ルヲ得ヘク其額ニ付キ各國ト年利二分五厘ノ利息ヲ以テ交互計算ヲ開始スヘク現金發送後ヨリ二十日以後ハ三分五厘トス

右金額ノ補償ハ金貨ヲ以テ五箇年ノ平均年賦ヲ以テ之ヲ爲ス

第八　其餘ノ條項ハ以上ノ實行ニ關スルモノナリ特ニ注意スヘキ點ハ希臘政府ハ羅甸同盟ノ繼續中其補助貨ノ流出ヲ制止シ且ツ又本同盟ノ消滅後五年間其貨幣制度ニ變更ヲ加ヘサルニ決セルカ故ニ同盟消滅後一箇年間ニ他ノ同盟諸國ニ流通スル自國補助貨ヲ回收スル義務ヲ免ルヘシ若シ他ノ同盟諸國カ其補助貨ノ希臘ニ輸出セラルヽヲ禁シ同時ニ之ヲ回收スルトキハ希臘ニ對シ同一ノ條件ト同一ノ期間ニ於テ之ヲ爲スヘキ相互約款ヲ有ス

第九　本條約ハ千九百九年四月一日ヲ以テ施行セラルヘク千八百八十五年十一月六日ノ條約ト同一ノ期限ヲ有スヘシ（其後伊太利政府ノ要求ニ依リ希臘補助貨ノ回收ニ關シテハ五月十五日ヲ施行期トセリ）

第十　本條約前文中ニハ希臘政府カ其國內ニ於ケル小紙幣ヲ回收シ補助銀貨ヲ以テ之ニ代ハラシムルタメ其補助貨ヲ自國ニ歸還セシムル利益ヲ認ムト云ヒ又同議定書ニ依リ希臘政府ハ補助貨鑄造ヨリ生スル利得（右補助貨ノ送還ヨリ生スル爲替運賃等ノ臨時費用ヲ引去リ）ノ一部ヲ以テ不換銀行券ノ償却ニ充ツヘキコトヲ宣言セリ

（八）

○上海金銀輸出入額　上海ニ於ケル本年五月中ノ金銀輸出入額ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

	金 金塊	金 金貨	金 計	銀 銀塊	銀 銀貨	銀 計
輸入						
日本	—	七、六三三	七、六三三	—	一二、七二六	一二、七二六
香港	—	一三、〇二〇	一三、〇二〇	—	八七四、七四一	八七四、七四一
芝罘	二一、〇五〇	—	二一、〇五〇	三九八、三四〇	一、四〇〇	三九九、七四〇
天津	八二、〇〇〇	—	八二、〇〇〇	二一二、五〇〇	—	二一二、五〇〇
福州	一、六二〇	—	一、六二〇	二〇〇	四三、六八〇	四三、八八〇
長沙	—	—	—	—	一五、六〇〇	一五、六〇〇
秦皇島	—	—	—	—	一一八、九二三	一一八、九二三
漢口	—	—	—	—	五八、九五九	五八、九五九
汕頭	—	—	—	—	六五、五七六	六五、五七六
牛莊	—	—	—	三六、〇〇〇	一一八、五〇〇	一五四、五〇〇
韓國	—	—	—	—	一一、二六三	一一、二六三
蕪湖	—	—	—	一七、〇〇〇	五、九〇〇	二二、九〇〇
英國	—	—	—	二、五〇七、六八八	—	二、五〇七、六八八
膠州	—	—	—	三八、八六七	二、〇〇〇	四〇、八六七
米國	—	—	—	一三、五〇〇	—	一三、五〇〇
杭州	—	—	—	五五六、〇七三	—	五五六、〇七三
印度	—	—	—	五二三、六〇〇	—	五二三、六〇〇
溫州	—	—	—	—	三、三九六	三、三九六
宜昌	—	—	—	—	一、〇八〇	一、〇八〇
鎭江	—	—	—	五、四〇〇	一二、二〇〇	一七、六〇〇
廣東	—	—	—	—	一二七、九六四	一二七、九六四
寧波	—	—	—	—	九七、一六〇	九七、一六〇
合計	一〇四、六七〇	二〇、六五三	一二五、三二三	四、三〇九、一六八	一、五七一、〇六八	五、八八〇、二三六
輸出						
日本	一〇二、四九八	六八、七〇二	一七一、二〇〇	—	—	—
獨國	一、〇二七、八二三	—	一、〇二七、八二三	—	—	—
孟買	一四八、八〇〇	—	一四八、八〇〇	—	—	—
厦門	—	—	—	—	一一、二三五	一一、二三五
漢口	—	—	—	—	三二、八四四	三二、八四四
福州	—	—	—	三、一五〇	一七、六二三	二〇、七七三
杭州	—	—	—	二五七、〇〇〇	二九二、二〇〇	五四九、二〇〇
香港	—	—	—	三五、〇〇〇	二〇九、〇八〇	二四四、〇八〇
天津	—	—	—	五七、五〇〇	—	五七、五〇〇
印度	—	—	—	五一八、三〇〇	—	五一八、三〇〇
南京	—	—	—	四、一六五	一、二四七	五、四一二
蕪湖	—	—	—	一、七〇〇	—	一、七〇〇
汕頭	—	—	—	四、八〇〇	—	四、八〇〇
九江	—	—	—	八、三八六	—	八、三八六
秦皇島	—	—	—	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇
芝罘	—	—	—	二、〇〇〇	—	二、〇〇〇
蘇州	—	—	—	八〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二八〇、〇〇〇
米國	—	—	—	—	一六、六六六	一六、六六六
合計	一、二七九、一二一	六八、七〇二	一、三四七、八二三	九七三、〇〇一	七八〇、八九五	一、七五三、八九六
輸入超過	—	—	—	三、三三六、一六七	七九〇、一七三	四、一二六、三四〇
輸出超過	一、一七四、四五一	四八、〇四九	一、二二二、五〇〇	—	—	—

○觀象

○全國氣象

七月十四日

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風向	風速	雨量 廿四時間	天氣
一	恆春	七五九・八	＋〇・二	二七・〇	二九・七	二五・〇	東	七	二九	曇
	臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	臺南	七五四・九	－〇・一	二六・二	三四・六	二五・〇	東南東	二	一	雨
	澎湖島	七五五・〇	－〇・二	二七・二	三一・四	二七・〇	北	二	—	曇
	臺中	七五五・三	－〇・八	二五・六	三三・〇	二五・三	—	一	—	曇
	臺北	七五四・九	－〇・四	二八・六	三三・七	二四・四	南東	七	—	快晴
	石垣島	七五八・五	－〇・四	二八・〇	三三・八	二六・一	南東	一一	三	晴
	那覇	七六〇・二	－〇・八	二五・八	三三・五	二五・七	—	一	—	晴
	名瀨	七六二・〇	－〇・四	二五・五	三二・一	二六・七	—	〇	—	快晴
二	佐多岬	七六三・二	－〇・六	二五・二	二九・〇	二五・二	東	七	—	晴
	都井岬	七六二・九	－〇・七	二四・四	二七・八	二三・九	—	〇	—	霧
	鹿兒島	七六三・〇	－〇・三	二四・九	三一・一	二四・五	—	一	—	快晴
	宮崎	七六三・六	－一・〇	二三・〇	三〇・四	二三・六	—	〇	—	晴
	熊本	七六三・三	〇・〇	二四・六	三三・四	二九・六	—	〇	—	曇
	足摺	七六二・九	－〇・二	二四・五	二九・六	二五・六	北	二	—	霧
	高知	七六三・七	〇・五	二三・八	三一・八	二五・四	—	〇	—	霧
	德島	七六四・一	＋〇・四	二四・二	二九・〇	二三・七	—	一	—	霧
	和歌山	七六三・九	＋〇・二	二三・九	二九・四	二四・〇	—	一	—	曇
	日御碕	七六三・九	－〇・一	二四・五	二六・七	二三・三	南東	三	—	快晴
	潮岬	七六四・一	－〇・五	二五・〇	二七・五	二三・九	西	四	—	快晴
三	大分	七六三・二	＋〇・一	二三・九	二八・一	二一・九	—	〇	—	霧
	松山	七六三・四	－〇・一	二三・二	三一・〇	二一・七	—	〇	—	曇
	多度津	七六三・七	＋〇・三	二三・九	三三・〇	二三・〇	—	一	—	晴
	廣島	七六三・八	＋〇・二	二三・〇	三三・〇	二三・九	—	一	—	曇
	吳	七六三・八	－〇・一	二三・七	三一・三	二三・〇	—	〇	—	霧
	岡山	七六三・七	＋〇・三	二三・三	三一・二	二三・五	北北東	二	—	霧
	神戶	七六三・九	〇・〇	二三・五	三〇・八	二三・〇	北西	二	—	曇
	大阪	七六三・九	＋〇・二	二四・五	三一・八	二三・九	—	一	—	曇
	京都	七六四・〇	＋〇・二	二三・六	三一・五	二三・六	—	〇	—	曇
	八木	七六四・〇	＋〇・三	二四・八	三一・二	二三・四	—	一	—	曇
四	大瀨崎	七六三・一	〇・〇	二四・七	二八・二	二四・一	南	八	—	霧
	長崎	七六三・三	－〇・二	二四・五	三一・五	二四・三	南	三	—	快晴
	佐世保	七六三・三	－〇・三	二四・一	三二・一	二四・九	—	〇	—	快晴
	佐賀	七六三・一	－〇・一	二四・二	三二・四	二三・七	—	〇	—	晴
	福岡	七六三・五	－〇・二	二四・七	三三・六	二四・五	西	二	—	快晴
	嚴原	七六二・六	＋〇・一	二三・一	二九・八	二五・三	—	一	—	快晴
	下關	七六三・三	〇・〇	二三・九	二八・〇	二三・三	東	五	—	曇
	濱田	七六三・一	－〇・一	二三・〇	三一・〇	二四・一	東	三	—	快晴
	境	七六三・一	＋〇・一	二三・二	三三・三	二五・一	—	一	—	快晴
	西鄉	七六三・〇	＋〇・一	二三・六	二六・八	二一・〇	西	五	—	晴
	經ヶ崎	七六三・九	＋〇・八	二五・九	三〇・八	二四・六	—	〇	—	晴
	舞鶴	七六三・五	－〇・二	二三・二	三一・八	二四・五	—	〇	一	曇
	波切	七六三・八	－〇・三	二三・九	二七・一	二三・三	南	二	—	晴
五	津	七六三・六	〇・〇	二三・七	二八・五	二一・八	—	〇	—	曇
	岐阜	七六三・四	－〇・二	二三・一	二八・九	二一・八	—	〇	一四	曇
	名古屋	七六三・四	－〇・一	二三・八	二八・九	二三・二	—	一	一	曇
	濱松	七六二・九	－〇・一	二三・五	二七・五	二一・七	北東	二	—	曇
	長津呂	七六二・四	－〇・七	二三・九	二六・八	二一・九	—	〇	—	霧
	沼津	七六三・八	－〇・五	二三・一	二八・〇	二三・〇	東北東	二	一	曇
	橫須賀	七六三・三	－〇・二	二三・九	二七・九	二一・八	—	〇	二	雨
	橫濱	七六三・〇	〇・五	二三・四	二八・八	二一・六	—	〇	三	霧
	東京	七六三・一	－〇・二	二三・三	二七・七	二三・九	—	〇	四	曇
	熊谷	七六三・〇	－〇・五	二三・八	二七・七	二一・四	—	〇	九	曇
	布良	七六三・五	－〇・一	二三・二	二六・一	二三・九	—	〇	二	曇
	銚子	七六三・三	－〇・三	二三・四	二四・八	二二・七	—	一	一	曇
	八丈島	七六三・五	－〇・六	二五・一	二八・一	二〇・八	南	三	—	曇
	父島	七六三・九	－〇・四	二五・四	三三・五	二三・五	—	一	—	曇
	筑波山	六九一・一	－〇・四	一九・三	二一・八	一七・二	西	八	一〇	霧
六	高山	七六四・七	＋〇・二	二〇・六	二六・二	一八・七	—	〇	一六	曇
	飯田	七六四・四	＋〇・四	二一・一	二七・四	一九・四	—	〇	四	曇
	松本	七六四・六	＋〇・二	二〇・五	二六・六	二〇・四	—	〇	三	曇
	長野	七六四・一	＋〇・三	二一・三	二四・三	二〇・〇	—	〇	二四	曇
	甲府	七六四・〇	＋〇・二	二三・〇	二八・八	二一・〇	—	〇	二六	曇
	前橋	七六二・六	－〇・六	二三・八	二六・六	二〇・八	北北西	二	三	曇
	足尾	七六三・五	－〇・三	一八・九	二五・〇	一七・六	北北東	三	三三	曇
	宇都宮	七六三・一	－〇・五	二二・四	二六・六	二〇・三	—	〇	一九	霧
	福島	七六二・一	－〇・二	二三・二	二七・二	二〇・四	南西	二	二	曇
七	彥根	七六三・〇	－〇・一	二三・〇	二八・一	二三・〇	—	〇	—	曇
	福井	七六三・二	－〇・四	二三・七	二九・六	二一・九	南	三	—	快晴
	金澤	七六三・一	－〇・三	二四・八	二八・四	二三・二	東南東	三	四	晴
	皆月	七六二・〇	－〇・一	二五・〇	二六・〇	二三・二	南	七	一四	晴
	伏木	七六二・九	－〇・四	二四・九	二八・二	二二・一	西	三	五	快晴
	新潟	七六三・三	－〇・三	二三・〇	二五・〇	二二・四	南	二	一六	晴
	山形	七六二・七	＋〇・六	二一・九	二九・〇	二〇・三	南	三	二	曇
	加茂	七六二・六	＋〇・一	二三・〇	二六・八	二一・二	南東	九	二六	曇
	秋田	七六二・七	＋〇・三	二一・六	二四・八	二〇・三	南西	二	七	曇
八	水戶	七六三・〇	－〇・二	二三・五	二七・三	二〇・六	—	一	六	曇
	金山	七六二・二	〇・〇	二四・六	二七・五	一九・八	—	一	二	曇
	金華山	七六二・一	－〇・二	二三・七	二三・四	一五・八	北西	五	一	曇
	石卷	七六一・九	〇・〇	二三・二	三三・一	一九・八	—	〇	—	曇
	水澤	七六一・九	－〇・一	二三・二	二六・五	一九・七	南	二	三	曇
	宮古	七六一・五	－〇・四	二〇・三	二八・九	一八・七	—	〇	—	曇
九	龍飛	七六一・三	＋〇・三	一九・二	二〇・一	一五・一	西	一	—	霧
	青森	七六一・六	＋〇・一	二〇・六	二三・三	一七・八	—	〇	七	曇
	函館	七六一・四	＋〇・一	一八・〇	二〇・九	一六・三	—	〇	四	雨
	壽都	七六〇・三	－〇・三	一八・〇	二〇・四	一五・九	西北西	二	一	雨
	札幌	七六〇・六	－〇・二	一八・七	二三・五	一七・九	—	〇	三	雨
	上川	七六〇・八	－〇・三	一九・一	二一・七	一六・八	—	〇	四	雨
一〇	十勝	七六一・〇	－一・一	一七・六	二一・一	一五・六	—	〇	三	曇
	宗谷	七六〇・七	－一・二	一三・七	二〇・一	一四・三	南東	八	—	霧
	網走	七六〇・四	－一・三	一八・二	二三・三	一五・九	—	〇	—	曇
	釧路	七六〇・〇	－一・三	一七・六	一九・三	一四・六	—	〇	一	曇
	根室	七六〇・六	－一・七	一四・六	一八・五	一三・三	—	〇	一	曇
	紗那	七六二・〇	－一・四	一三・六	一九・五	七・五	—	一	—	快晴
	大泊	七六一・三	－一・四	一三・五	二四・七	一二・八	—	一	—	曇
	眞岡	七六一・八	－一・九	一七・四	一八・二	一二・五	東北東	三	—	曇
	敷香	七六二・〇	－一・六	一二・四	一八・八	一二・〇	南	五	—	曇
	釜山	七六二・〇	－〇・一	二四・〇	二六・九	二三・六	西南西	一四	—	曇
	木浦	七六〇・七	＋〇・四	二四・一	二九・三	二三・三	南	一三	—	曇
	仁川	七六〇・〇	＋〇・五	二三・四	二六・二	二〇・一	南	四	六	曇
	平壤	七五七・六	＋〇・二	二三・七	二五・〇	二〇・一	南	五	四	曇
	元山	七五七・八	－〇・一	一九・四	二三・四	一九・三	—	一	五	霧
	城津	七五七・八	－一・三	一八・九	二〇・八	一六・八	—	〇	五	曇
	龍岩浦	七五六・六	－〇・一	二〇・六	二一・四	一九・六	南南西	八	四九	雨
	大連	七五六・三	＋一・二	二〇・四	二三・〇	一九・六	—	一	二四	雨
	旅順	七五六・二	＋〇・九	一九・九	二三・五	一九・五	—	一	八	雨
	營口	七五五・四	＋一・一	二一・八	三三・九	二〇・六	南西	六	九	雨
	奉天	七五五・五	＋一・六	二〇・八	二六・四	二〇・七	南西	四	二	曇
	長春	七五三・二	＋二・四	一九・二	二七・五	一八・二	南東	一〇	一八	曇
前日	天津	七五三・〇	—	二一	—	—	南東	一※	一	雨
	芝罘	七五三・二	—	一九	—	—	南東	二※	一	曇
	青島	七五三・九	—	二一	—	—	北東	一※	—	雨
	上海	七五三・〇	—	二六	—	—	南	四※	—	曇
	厦門	七五五・六	—	二九	—	—	—	〇※	—	晴
	杭州	七五五・四	—	三五	—	—	南	二※	—	曇
	南京	七五二・四	—	二七	—	—	南	一※	—	曇
	漢口	七五一・三	—	三三	—	—	北東	二※	—	晴
	沙市	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○天氣概況　昨日呂宋ヲ橫キリ北西ニ進行シタル颶風ハ大陸ニ入リタルモノヽ如ク又滿洲北部ニハ小低氣壓ノ進行シツヽアルモノアリ而シテ高氣壓ハ少シク南東ニ移リ本邦大平洋岸ヲ占メ漸ク梅雨期ノ狀態ヲ脫スルニ至レリ

琉球及九州ニテハ天氣晴朗ナレトモ內海ヨリ東北地方マテハ曇天ニシテ北海道ニテハ雨天ノ處多シ滿洲南部ニテハ降雨シ韓國ニテハ曇天ナリ

氣溫ハ上昇シ平年ヨリ高ク敷香ノ十二度四ヨリ臺北ノ二十八度六ノ間ニ在リ

○全國天氣豫報　自七月十八日午後六時至七月十九日午後六時二十四時間ノ天氣豫報　十八日發

第一區　北東ノ風、概ネ曇ナレトモ驟雨ノ模樣アリ
第二區　南ノ風、概ネ晴
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　第二區ニ同シ
第六區　第二區ニ同シ
第七區　第二區ニ同シ
第八區　南西ノ風、概ネ晴
第九區　南ノ風、概ネ曇後晴
第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報　南ノ風、晴

○暴風警報　風雨ノ强カラントスル虞アリ七月十八日午前八時九、十區ヲ警戒ス

○東京氣象

七月十六日

氣壓（海面ノ度）	平均	七六〇・三粍
氣溫	平均	二七・九度（平年ヨリ三・五度高シ）
	最高	三三・九度
	最低	二三・一度
濕度	平均	七九・二%
水蒸氣張力	平均	二一・七粍
雲量	平均	二・二
日照時間		九・〇時
風	平均速度	二・二米
	最大速度	四・一米
	最多方向	南南東
降水	總量	〇・〇粍
	一時間最大量	〇・〇粍
蒸發	總量	六・〇粍
記事		朝霧、朝夜露アリ、午後四時五十三分ヨリ微雨、六分間ニシテ歇ム

七月十七日

氣壓（海面ノ度）	平均	七五九・九粍
氣溫	平均	二七・九度（平年ヨリ三・六度高シ）
	最高	三三・一度
	最低	二三・六度
濕度	平均	八〇・二%
水蒸氣張力	平均	二二・一粍
雲量	平均	一・五
日照時間		九・五時
風	平均速度	二・五米
	最大速度	四・六米
	最多方向	南
降水	總量	—粍
	一時間最大量	—粍
蒸發	總量	四・七粍
記事		朝夜露アリ

（以上中央氣象臺）

（九）

○廣告

第一三號　專賣局官吏證票　一葉
元專賣局小田縣收納所在勤專賣局書記野々山嶽曉へ交付ノ分
右盜難ニ罹リタル旨屆出ニ依リ無效トス
明治四十二年七月　專賣局

第七二〇號　陸地測量證　陸軍步兵中尉奧秋伴藏へ交付ノ分
右紛失ニ依リ無效トス
明治四十二年七月　陸地測量部

○收容貨物

左記貨物ハ本關ニ於テ收容後滿六箇月ヲ經過シタルモノニ付キ關稅法第五十條ニ依リ公告ス
明治四十二年七月　橫濱稅關

收容年月日　16/1/42　記號　N/M　箇數　8　Bags　品名　Bran

○生徒募集

今般製鹽技術員養成科生徒十人ヲ募集ス其要領左ノ如シ

東京　水產講習所

明治四十二年七月

入學資格　年齡滿二十年以上三十五年未滿ニシテ左ノ資格ヲ有シ體格檢查ニ合格シタル者
一　本所本科卒業又ハ農水產傳習所卒業ノ者
二　府縣立中學校卜同等以上ト認定アル水產學校及府縣立中學校卒業ノ者
願書差出期日　志願者ハ左式ノ願書ニ卒業當該學校長ノ卒業證明書、履歷書竝ニ明治四十一年七月以降單身脫帽撮影ノ手札形寫眞ニ族籍、氏名、生年月日ヲ自書シタルモノヲ添付シ來ル八月二日ヨリ同十六日マテニ到著スル樣直接本所ニ差出スヘシ
選拔試驗擧項　試驗科目　物理、化學、數學（算術、代數、幾何、三角）、讀書及作文
試驗場所及期日　入學試驗ハ本年九月二日ヨリ本所ニ於テ施行ス
受驗者ハ來ル八月三十一日出所ノ上寄宿所屆書ヲ差出シ受驗證票及受驗心得書ヲ受領シ時間割等ヲ會合スヘシ
入學願書（用紙美濃紙）
私儀御所製鹽技術員養成科（入學志願ニ付御許可被成下度別紙履歷書相添此段相願候也
原籍族稱　某男子弟等
年　月　日　何　某　印
水產講習所長某殿
履歷書（用紙美濃紙）

○貯金通帳亡失及盜難等

左記貯金通帳亡失及盜難等ノ事故ニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局ニ屆出ツヘシ
明治四十二年七月

記番號　預ケ人氏名
いろは　京橋南傳馬　新堂　君子
いはに　武藏　同　立川　佐藤　ミヤ
いろれ　同　牛込柳榮　田口　久幹

學業
一何年何月何日ヨリ何地ニ（公私）立何學校ヘ入學シ何年何學科何學年修業
一何年何月何日何地何某ニ從ヒ何年間何學修業
用費何々
一何年何月何日何所ニ於テ何當間ヲ受ケタリ
右之通相違無之候也
年　月　日　何　某　印

郵便爲替貯金管理所

記番號　預ケ人氏名
いろゐ　小石川小日向水道町　町田　敬五郎
いはほれ　同　同　同
いろゐち　一七九五　同　同
一四九五　同　同
五三二　同　立

左記貯金通帳亡失ニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局ニ屆出ツヘシ
明治四十二年七月

記番號　預ケ人氏名
いろは　京橋南傳馬　新堂　君子
いはに　一五二九　同　立川　佐藤　ミヤ
いろれ　二五三六　同　牛込柳榮　田口　久幹

左記郵便物ハ心當ノ者ハ當局ニ申出アラルヘシ
明治四十二年七月

去月分
有價物件在中不能還付郵便物
差出人　木溪胡　虎　淵　愛取人　西錦州東四裡三臺衙門畑同金宅嬭門　孫
非有價物件不能還付郵便物
第一種　一二六　第二種　一三　第三種　三

○字編入

本年十月一日ヨリ愛知郡千種町及御器所村ノ內左記ノ地域ヲ名古屋市ニ編入シ境界ヲ變更ス
明治四十二年七月

愛知縣

地番　地目　段別
愛知郡千種町ノ內
字猿越ノ內　畑　一反八畝
八ノ二　田　一反二畝
八ノ六　郡村宅地　〇反三五
一一ノ一　畑　〇反二九
一一ノ二　田　〇反一八
四五ノ一　田　〇反一九
四六　同　〇反一〇

字編入
愛知郡千種町ノ內
字猿越ノ內　畑　一反一畝
八ノ二　田　一反二畝
八ノ六　郡村宅地　〇反三五
一一ノ一　畑　〇反二九
一一ノ二　田　〇反一八
四五ノ一　田　〇反一九
四六　同　〇反一〇

○不能還付郵便物

左記郵便物ハ心當ノ者ハ當局ニ申出アラルヘシ
明治四十二年七月

去月分
有價物件在中不能還付郵便物
差出人　木溪胡　虎　淵　愛取人　西錦州東四裡三臺衙門畑同金宅嬭門　孫
非有價物件不能還付郵便物
第一種　一二六　第二種　一三　第三種　三

○字編入

本年十月一日ヨリ愛知郡千種町及御器所村ノ內左記ノ地域ヲ名古屋市ニ編入シ境界ヲ變更ス
明治四十二年七月

愛知縣

地番　地目　段別
愛知郡千種町ノ內
字猿越ノ內　畑　一反一畝
八ノ二　田　一反二畝
八ノ六　郡村宅地　〇反三五
一一ノ一　畑　〇反二九
一一ノ二　田　〇反一八
四五ノ一　田　〇反一九
四六　同　〇反一〇

統監府通信管理局

記番號　交付局所名　受取人
三一　平壤　岡本　正人
韓いろ一〇六八　鎭二　浦本吉　長次郎
韓ほか三六　成川金達吾

郵便爲替貯金管理所

記番號　交付局所名　預ケ人氏名
三一　京橋南傳馬　新堂　君子
三二八　武藏　同　立川　佐藤　ミヤ
三二五　同　牛込柳榮　田口　久幹

統監府通信管理局

韓ろる　八一　新義州　韓　吉
韓ほぬ　七二五　龍山　藤　治
韓はい　五〇三　仁川　熊太郎
韓いつ　一四九　安州　四倉　磐之助

愛知縣

地番　地目　段別
愛知郡千種町ノ內
字猿越ノ內　畑　一反一畝
八ノ二　田　一反二畝
八ノ六　郡村宅地　〇反三五
一一ノ一　畑　〇反二九
一一ノ二　田　〇反一八
四五ノ一　田　〇反一九
四六　同　〇反一〇

字編入
愛知郡千種町ノ內
字猿越ノ內　畑　一反一畝
八ノ二　田　一反二畝
八ノ六　郡村宅地　〇反三五
一一ノ一　畑　〇反二九
一一ノ二　田　〇反一八
四五ノ一　田　〇反一九
四六　同　〇反一〇

關東都督府通信管理局

官報　第七八一九號　明治四十二年七月十九日（第三種郵便物認可）

7819

参考 7819 号

第一號　冬襦袢袴下　千五百組
右善通寺步兵第四十三聯隊納
第二號　夏襦袢袴下　二千組
右丸龜步兵第十二聯隊納
以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ滿二年以上引續キ其業ニ從事スル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札前日午前中ニ當部ニ差出スヘシ
右各號入札ニ付シ購買ス入札望ノ者ハ今十九日ヨリ入札前日マテ（執務時間內）ニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上本月二十六日午前十時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第十一師團經理部長大須賀又雄擔任ス
明治四十二年七月十九日
第十一師團經理部

一　海老茶色毛織　三百五十米　納期本年九月十五日
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル八月五日午前十時三十分限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同十一時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ舞鶴海軍工廠會計部長五藤兵司擔任ス
明治四十二年七月十九日
舞鶴海軍工廠會計部

○工事請負入札

一　東京癈兵院事務室其他修繕工事
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（圓未滿切上ク）、入札者ハ滿二年以上其業ニ從事シ且ツ二年以上引續キ直接國稅金十圓以上（合名會社ハ其社員ノ納稅額ヲ合算ス）ヲ納付シタルモノ竝ニ合資會社、株式會社及株式合資會社ニ在リテハ資本金一万圓以上ノ拂込ヲ終リタルコトヲ市區町村長ノ證明セル者ニ限ル
右請負望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書、契約書案、仕樣書、圖面及現場等熟覽ノ上資格證明書ハ入札前日マテニ、入札書ハ來ル八月三日午前十時限當部ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ第一師團經理部長靑柳忠次擔任ス
明治四十二年七月十九日
第一師團經理部

一　造兵廠鑄造工場新營竝ニ鑄鋼及溶鋼場改築工事　鐵骨平家建新營二百六坪六合二勺五才、煉瓦造平家建改築七十三坪
入札保證金各自見積金額百分ノ五以上、入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル者ニ限ル此證明書ハ本月三十日マテニ差出スヘシ
右請負望ノ者ハ當局ニ就キ圖面、仕樣書、契約書案、入札心得書及現場（本月三十一日午前十時）等熟覽ノ上來ル八月三日午前十時限當局ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ海軍省經理局長福永吉之助擔任ス
明治四十二年七月十九日
海軍省經理局

一　舞鶴海軍工廠需品庫石炭庫五棟修繕工事
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、契約保證金請負價格百分ノ十以上（圓未滿圓位ニ切上ク）
右請負望ノ者ハ滿二年以來引續キ其業ニ從事スルコトヲ郡市區町村長ニ於テ證明シタル書面ヲ當部建築科ニ差出シ現場、仕樣書、圖面、契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上來ル八月二日午前十時限同科ニ入札スヘシ同時三十分同科ニ於テ開札ス
此契約ハ舞鶴海軍經理部長秋山藤吉擔任ス
明治四十二年七月十九日
舞鶴海軍經理部

○入札拂下

一　鐵空罐外二點　神戸渡
入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル八月三日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ西部鐵道管理局長岩崎彥松擔任ス
明治四十二年七月十九日
西部鐵道管理局

一　三十磅古軌條及附屬品　四點　岩見澤渡
一　金物屑及空罐空箱類　四點　手宮渡
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル八月三日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ北海道鐵道管理局長野村彌三郎擔任ス
明治四十二年七月十九日
北海道鐵道管理局

第一號　特別五分利公債額面千圓　二枚　六月分以降利札附
第二號　特別五分利公債額面千圓　二枚　同上
第三號　特別五分利公債額面千圓　二枚　同上
　　　　特別五分利公債額面百圓　一枚　同上
　　　　特別五分利公債額面五拾圓　一枚　同上
第四號　整理公債額面千圓　二枚　同上
第五號　整理公債額面五百圓　四枚　同上
第六號　軍事公債額面五百圓　二枚　同上
　　　　軍事公債額面百圓　五枚　同上
第七號　軍事公債額面百圓　五枚　同上
　　　　軍事公債額面五拾圓　十三枚　同上
以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ當部ニ就キ契約書案及入札心得書等熟覽ノ上來ル八月二日午前十時限入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第一師團經理部長靑柳忠次擔任ス
明治四十二年七月十九日
第一師團經理部

○入札拂下公告中取消

去月十八、十九、二十一日本欄內掲載當署入札拂下公告中左記ノ箇所ハ取消ス
田第二〇二號、田第二〇二號ノ內
以上本月十日川內小林區署ニ於テ公賣ノ分
田第六一號、田第六二號、田第六三號、田第六四號、田第一七八號、下第一八號、田第一六二號、下第三八七號、田第一六三號、田第一八四號、田第一八八號、田第二一六號、下第三八五號、下第三八六號、田第一六一號
以上本月七日大畑小林區署ニ於テ公賣ノ分
同第四五四號ノ一、田第一七六號、田第二一〇號、田第二一一號、田第二二九號、下第三五七號、田第二〇五號、田第二二二號
以上本月五日横濱小林區署ニ於テ公賣ノ分
野第一四三九號、野第一一六號、野第五〇四號、野第五〇六號、野第五一〇號、野第五四二號、野第五四四號、野第五二〇號、野第一一六三號
以上本月五日野邊地小林區署ニ於テ公賣ノ分
七第五九七號
右本月七日三本木小林區署ニ於テ公賣ノ分
明治四十二年七月十九日
靑森大林區署

○商業登記

株式會社多古銀行登記事項中左ノ通變更
一　取締役林忠三郎死亡ニ因リ抹消ス
右明治四十二年七月十三日登記
八日市場區裁判所多古出張所

山梨印刷株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一　取締役辭任及補缺員增員ニ付明治四十二年六月二十八日臨時株主總會ニ於テ選擧ヲ行ヒ左記ノ通當選就任
一　取締役ノ氏名住所
東山梨郡等々力村三十番戸　金丸傳四郎
東山梨郡平等村七十番戸　金澤爲眞
同郡八幡村百四十八番戸　樋口懿助
甲府市愛宕町百二十六番地　野尻理作
東山梨郡日川村九番戸　中村東吉
東山梨郡諏訪村千野々宮六百九十七番地　大村光太郎
甲府市常盤町十番地　名取一作
一　監査役三名增員ニ付明治四十二年六月二十八日臨時株主總會ニ於テ選擧ヲ行ヒ左記ノ通當選就任
一　監査役ノ氏名住所
東山梨郡後屋敷村百九十五番戸　古屋景秀
同郡七里村五百三十一番戸　中村好太郎
同郡上万力村百七十七番戸　山下音治郎
右明治四十二年七月十二日登記
甲府區裁判所

合資會社登記第十七號
一　商號　高島合資會社
二　本店　長野縣北安曇郡八坂村二千五百十七番地
三　目的　蠶業養禽物品販賣物品依託販賣旅人宿
四　設立ノ年月日　明治四十二年七月八日
五　代表社員ノ氏名　高島太市
六　存立時期　明治六十二年七月七日
七　社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格責任
一　勞力評價格金二百圓　無限責任　長野縣北安曇郡八坂村二千五百十七番地　高島　太市
但評價ノ標準ハ一箇年ノ內二十五日トシ一日分金四十錢ニテ合計二十箇年ノ積算
一　金三百圓　有限責任　同縣同郡同村二千四百九十六番地　高島常三郎
一　金二百圓　有限責任　同縣同郡同村二千四百七十九番地　大澤　里十
右明治四十二年七月十二日登記
大町區裁判所

一　商號　一宮靑物合資會社
一　本店　中島郡一宮町大字一宮字大門東十一番地ノ一
一　目的　農產物、海產物及菓實ノ問屋業竝ニ委託販賣
一　設立ノ年月日　明治四十二年七月十日
一　代表社員ノ氏名　鈴木龜次郎
一　社員ノ氏名住所出資類及責任
一　金百五十圓　無限　中島郡一宮町大字一宮千二百二十三番戸　鈴木龜次郎
一　金百五十圓　同　同大字八百四十九番戸　森　彥七
一　金百五十圓　同　同大字字上浦町二十八番地　川浦梅太郎
一　金百五十圓　有限　同大字字大門西三十五番地　川合丑五郎
一　金百五十圓　同　同大字庚九百二十二番戸　森　吉兵衛
一　金百五十圓　同　同大字字傳馬町三十六番地　丸川廣太郎
一　金百五十圓　同　同大字五百八十五番戸　野田竹次郎
一　金百五十圓　同　同大字字下馬沛三十二番地　淺野彌七
一　金百五十圓　同　同大字字上浦町九番地　鈴木彌九郎
一　金百五十圓　同　同大字字大門東十五番地　秋田要次郎
一　金百五十圓　同　同大字字傳馬沛四十一番地　後藤增次郎
一　金百五十圓　同　同大字七百八十番戸　福江菊五郎
一　金百五十圓　同　同大字千四百十九番戸　內田はる
一　金百五十圓　同　同大字三百五十五番戸　木村義雄
一　金百五十圓　同　同大字二百七十五番戸　土川健次郎
一　金百五十圓　同　同大字下片端十四番地　天野要治郎
一　金百五十圓　同　丹羽郡丹陽村大字淺野九番地　林　梅三郎
一　金百五十圓　同　同郡西成村大字多加木二番戸　村手德三郎
一　金百五十圓　同　同大字乙百三十二番戸　富田吉次郎
一　金百五十圓　同　三重縣員辨郡七和村大字森忠七百五十三番地　加藤茂三郎
一　存立ノ時期　設立ノ日ヨリ向フ滿二十箇年
右明治四十二年七月十二日登記
右公告ス
明治四十二年七月十二日
一宮區裁判所

合資會社設立登記
一　商號　合資會社桑名醬油製造所
一　本店　三重縣桑名郡桑名町大字吉之丸三十六番地
一　目的　醬油及味噌ノ製造販賣
一　設立ノ年月日　明治四十二年七月三日
一　代表社員ノ氏名　伊藤辰次郎　內田晴次
一　社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一　金二千圓　無限　三重縣桑名郡桑名町大字吉之丸三十七番地　內田　晴次
一　金二千圓　無限　同縣同郡城南村大字小貝須六十九番屋敷　伊藤辰次郎
一　金五百圓　有限　同上大字同所五十七番屋敷　高松源兵衛
一　金五百圓　有限　同上大字赤須賀新田九番屋敷　後藤眞太郎
一　金五百圓　有限　同上七番屋敷　後藤久太郎
一　金五百圓　有限　同上大字大貝須新田十六番屋敷　後藤元次郎
一　金五百圓　有限　同上桑名町大字伊賀町千八百二十一番地　伊藤　岩松
一　存立ノ時期　設立ノ日ヨリ二十箇年
一　解散ノ事由　總社員ノ同意ニ因ル
右明治四十二年七月十二日登記
四日市區裁判所桑名出張所

○產業組合登記

產業組合登記簿二號
一　名稱　有限責任彌彥相濟信用組合
二　組織　有限責任
三　事務所　新潟縣西蒲原郡彌彥村大字彌彥千二百五十番地
四　目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム
五　設立許可ノ年月日　明治四十二年六月十一日
六　出資一口ノ金額　金五圓
七　出資拂込ノ方法　第一回拂込金一圓第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外每年十月末ニ金五十錢以上拂込ムモノトス
八　理事ノ氏名住所
新潟縣西蒲原郡彌彥村大字彌彥二千九百七番地　花井菊太郎
新潟縣西蒲原郡彌彥村大字彌彥百十七番戸　林部　德松
新潟縣西蒲原郡彌彥村大字彌彥千二百五十番地　國島友三郎
九　監事ノ氏名住所
新潟縣西蒲原郡彌彥村大字彌彥千二百四十一番地　大久保友次郎
新潟縣西蒲原郡彌彥村大字走出五番戸　松宮　角治
十　存立ノ時期　二十箇年
右明治四十二年七月十三日登記
三條區裁判所吉田出張所

一　名稱　有限責任小田信用購買組合
一　組織　有限責任
一　事務所　阿山郡小田村大字小田百四十一番地
一　目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム
農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却ス
一　出資一口ノ金額　金五圓
一　出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金一圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付每年一月末及六月末金五十錢宛拂込ムモノトス
一　設立許可ノ年月日　明治四十二年六月十日
一　理事ノ氏名住所
三重縣阿山郡小田村五十四番屋敷　高久　甚助
同所四十二番屋敷　橋本宗七
同所三十三番屋敷　北岡　善助
一　監事ノ氏名住所
三重縣阿山郡小田村七十七番屋敷　村岡常次郎
同上大字小田千百四十一番地　竹澤善之助
一　存立ノ時期　二十箇年
右明治四十二年七月十二日登記
上野區裁判所

○公示催告

東京市日本橋區本船町十一番地
不在者　中村吉太郎
出生嘉永五年三月七日
右ニ對シ利害關係人中村治郎兵衛ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十三年二月十日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十二年七月十四日
東京區裁判所
判事　水谷由章

第7819号 本文

○失踪宣告

栃木縣河内郡城山村大字駒生五十番地平民農
不在者　杉浦子之作
安政五年九月九日生

右ニ對シ其兄杉浦音藏ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十二年七月十四日失踪宣告ヲ為シタリ

明治四十二年七月十四日

宇都宮區裁判所
判事　志水貞元

山形縣飽海郡上郷村大字大沼新田字内畑十二番地ノ内一番地平民農　佐藤吉治
慶應三年七月二十四日生

當裁判所ハ明治四十一年十二月十八日山形縣飽海郡上郷村大字大沼新田字内畑十二番地ノ内一番地佐藤仲治ノ申立ニ因リ前記ノ者ニ對シ失踪ノ宣告ヲ為シタリ

明治四十二年七月三日

酒田區裁判所
判事　郡山大太郎

○東京郵便局外國郵便締切時限

明後二十一日横濱マテ汽車便送同地ヨリ丹後丸ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十一日午前十時半	二十一日午前六時
通常（書留）	同日午前九時半	同上
小包	二十日午後七時	二十日午後五時
聯合為替	二十一日午前九時	同日正午十二時
特別為替	十九日正午十二時	十九日正午十二時

（備考）小包ハ北米合衆國ポートリコ及加拿陀宛トス

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「ガバナー、エスケ」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十一日午後七時半	二十一日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
聯合為替	同日正午十二時	十九日正午十二時
特別為替	十九日正午十二時	同上

（備考）露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

同日横濱マテ汽車便送同地ヨリ日本丸ヲ以テ布哇經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十一日午前十時半	二十一日午前八時
通常（書留）	同日午前十時	同上
小包	二十日午後七時	二十日午後五時
聯合為替	二十一日午前九時半	同日正午十二時

（備考）小包ハ北米合衆國及其屬地宛トス

本月二十三日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「モンゴリア」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十三日午後七時半	二十三日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
聯合為替	同日正午十二時	二十二日正午十二時
特別為替	二十一日正午十二時	二十一日正午十二時

（備考）露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

同二十四日門司マテ汽車便送同地ヨリ讃岐丸ヲ以テ上海經由、香港印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十四日午後七時半	二十四日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包（香港）	二十三日午後七時	二十三日午後五時
小包（萬國）	二十三日午後八時半	二十三日午後六時半
香港為替	二十四日正午十二時	二十三日正午十二時

（備考）萬國小包ハ清國（獨逸局所在地）、埃及及歐洲等宛トス

同日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「カレドニアン」號ヲ以テ上海經由香港、印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十四日午後九時半	二十四日午後六時半
通常（書留）	同日午後九時	同上
價格表記	同上	同上
小包（香港）	同日午後七時	同日午後五時
小包（萬國）	二十三日午後八時半	二十三日午後六時半
香港為替	二十四日正午十二時	同日正午十二時

（備考）萬國小包ハ交趾支那、印度、埃及、濠洲及歐洲等宛トス

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一タコマ經由歐米諸國宛　二十五日頃締切ノ筈
一布哇經由同上　二十八日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ毎週月、水、金曜日ニ上海香港並ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方迅速ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

讃岐丸（歐洲行）　明後二十一日正午十二時横濱出帆本月二十七日神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

丹後丸（米國行）　同日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（歐米各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス）

博愛丸　本月二十二日午前十時横濱出帆同二十四日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

八幡丸（濠洲行）　同二十四日正午十二時横濱出帆同二十七日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

丹波丸　同二十六日午前十時横濱出帆同三十日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行

和歌浦丸　同二十七日午前十時横濱出帆勝浦、神戸、門司、基隆、安平、打狗行

兵庫丸　八月五日午後二時横濱出帆八丈島、鳥島、父島、母島、沖湊行

○同上神戸等出發表

山口丸　明後二十一日午前十時神戸出帆門司、長崎上海行

立神丸　本月二十五日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、清津、浦潮斯德行

竹島丸　同三十日午前十時神戸出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

毎日（午後九時）	青森發	翌朝三時	函館著
毎日（午後八時）	青森發	翌朝八時	室蘭著

鎌倉丸　毎月神戸發正午（三日・十七日）　門司著（四日・十八日）　基隆著午前（七日・二十一日）

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行

筑後川丸　明二十日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行

清國行

成興丸　本月二十四日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、清津行

大智丸　明後二十一日正午十二時大阪出帆翌二十二日午前十時神戸出帆門司、天津行（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）

鐵嶺丸　本月二十二日正午十二時大阪出帆翌二十三日午前十時神戸出帆門司、大連行

開城丸　同二十五日正午十二時大阪出帆翌二十六日午前十時神戸出帆門司、大連行

大信丸　同二十九日正午十二時大阪出帆翌三十日午前十時神戸出帆門司、天津行（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）

天草丸　同日正午十二時大阪出帆翌三十日午前十時神戸出帆門司、大連行

臺灣行

嘉義丸　八月一日午後四時神戸出帆翌二日午後四時宇品出帆門司、大連行

釜山丸　明後二十一日午前八時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行

さくら丸　毎月一日、十一日、二十一日午後二時神戸出帆門司、基隆行

鎭南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

蘇州丸　毎月十五日、三十日午前六時神戸出帆門司、基隆行（船客ヲ搭載セス）

大義丸　毎月十五日、三十日午前六時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　明二十日午後五時敦賀出帆本月二十二日浦潮斯德著
金曜日午後二時浦潮斯德出發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○附録　今十九日發刊廣告八頁

官報第七千八百十九號附錄

明治四十二年七月十九日

○廣告

○商業登記

帝國運輸自動車株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役潮田方藏ハ明治四十二年七月九日辭任セリ
日本潛水業株式會社登記事項中左ノ如ク追加ス
一清算結了ノ年月日　明治四十二年六月一日
東京護謨株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役左者ハ明治四十二年六月三十日重任ス
東京市下谷區池ノ端茅町二丁目十四番地　林　包明
同市同區東黑門町二十一番地　千葉禎太郎
東京胞衣株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年六月二十七日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一本　店　東京市芝區新櫻田町十九番地
一左者ハ同日取締役ニ就任ス
東京市本郷區根津宮永町三十八番地　澤口　永將
徵兵保險株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役小澤武雄、石橋重朝ハ明治四十二年六月三十日退任シ同三宅碩夫ハ同日重任シ左者ハ同日取締役ニ就任ス
東京市京橋區銀座二丁目九番地　三宅　碩夫
福岡市藏本町五十番地ノ一　太田　清藏
東京市芝區芝公園第五號地　高橋　光威
同市同區二本榎町一丁目六十一番地　辮　茂夫
同市京橋區南紺屋町九番地　濱地　八郎
一監査役濱地八郎、岡本則綠ハ同日退任シ左者ハ同日監査役ニ就任ス
東京市赤坂區福吉町一番地　山中　立木
東京府豐多摩郡千駄ケ谷町九百三番地　平尾　信壽
合資會社玉寶堂登記左ノ如ク變更及追加ス
一明治四十二年七月十日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一本　店　東京市下谷區上野花園町三番地
一清算人ノ氏名住所
東京市下谷區仲徒町三丁目七十五番地　熊木元次郎
同市日本橋區蠣殼町三丁目十二番地　石尾一郎助
同市下谷區上野花園町十五番地　森　澡

右明治四十二年七月十日登記

東京區裁判所

支配人登記簿第九冊第八一六號
一支配人ノ氏名住所　東京市下谷區龍泉寺町三百五十二番地　上村　順道
一主人ノ氏名住所　東京市日本橋區横山町一丁目一番地　合資會社高見澤商店
一支配人ヲ置キタル場所　東京市日本橋區横山町一丁目一番地
株式會社東京銀行支配人草刈隆一ノ登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月四日主人ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市日本橋區田所町十番地
一明治四十二年七月四日支配人ヲ置キタル場所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市日本橋區田所町十番地
株式會社東京銀行支配人伊藤恕一ノ登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月四日主人ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市日本橋區田所町十番地

一明治四十二年七月四日支配人ヲ置キタル場所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市日本橋區田所町十番地
株式會社東京銀行（但深川支店）ノ支配人伊藤恕一ノ登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月四日主人ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市日本橋區田所町十番地
株式會社早稻田銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年六月三十日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一本　店　東京市本所區林町一丁目九番地
株式會社東京銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月四日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一本　店　東京市日本橋區田所町十番地
東京機械製造株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役石塚正治ハ明治四十一年十二月十九日退任セリ
一取締役小野金六ハ明治四十二年六月三十日重任ス
東京市麴町區飯田町三丁目二番地　小野　金六
一監査役岩田作兵衛ハ同日重任シ石塚正治ハ同日監査役ニ就任ス
東京市日本橋區本町一丁目十番地　岩田作兵衛
同市麴町區三番町六十三番地　石塚　正治
日本運輸株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役左者ハ明治四十二年六月三十日重任ス
東京市京橋區木挽町一丁目五番地　清水　辰藏
同市神田區末廣町二番地　大塚　松藏
株式會社百五十銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十二年七月本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一本　店　東京市日本橋區坂本町三十番地
右明治四十二年七月十二日登記

東京區裁判所

大日本麥酒株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役筧元忠ハ明治四十二年七月五日辭任セリ
右明治四十二年七月十二日登記

東京區裁判所南品川出張所

株式會社東京秋葉銀行登記事項中左ノ通變更ス
一商　號　株式會社報德銀行
一本　店　東京市京橋區三十間堀町三丁目三番地
右明治四十二年七月十三日登記

東京區裁判所淀橋出張所

一商　號　合資會社日用商店
一本　店　横濱市福富町三丁目八十四番地
一目　的　米穀薪炭石炭及コークス等日用品販賣業
一設立年月日　明治四十二年七月十三日
一社員及其出資種類價格及責任
一金五百圓　無限　横濱市福富町三丁目八十四番地　鈴木佐兵衛
一金千圓　有限　同所同番地　鈴木豐次郎
一金六百圓　同　同市青木町四百五十四番地　吉田　平吉
一金五百圓　同　同市花咲町二丁目二十一番地　二上茂兵衛
一金五百圓　同　同市太田町一丁目十四番地　吉田代次郎
一金五百圓　同　同市尾上町二丁目十七番地　川村　千枝
一金五百圓　同　東京市麻布區廣尾三十五番地　福澤　キヨ
一金二百六十圓　同　横濱市北方町六百六番地　中澤　兼吉
一金五百圓　同　同市羽衣町二丁目四十八番地　大橋　半輔

第7819号付録

第7819号　付録

第7819号　付録

第7819号　付録

第7819号 付録

産業組合設立登記

一 名稱 無限責任香南信用購買組合
二 組織 無限責任
三 事務所 岡山縣苫田郡香々美南村大字香々美八百五十七番地ノ一
四 目的 一 組合員ニ産業上必要ナル資金ヲ貸付シ且貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二 産業又ハ生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
五 設立許可ノ年月日 明治四十二年五月十七日
六 出資一口ノ金額 五圓
七 出資拂込ノ方法 第一回拂込金額ハ一口ニ付金一圓第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ左ノ方法ニ依リ拂込ヲナスモノトス出資各口ニ付毎年六月十二月各二十日限リ金一圓以內ヲ拂込ムコト但第一回拂込後二箇年間以內ニ全額ヲ拂込ムコト
八 理事ノ氏名住所
岡山縣苫田郡香々美南村大字市場百九十四番地 林 宗治郎
同縣同郡同村大字寺和田千五百五十五番地 小坂 龍市
同縣同郡同村大字公保田百二十番地 田口 梁兵
同縣同郡同村大字香々美四百五十七番地 後藤 多市
九 監事ノ氏名住所
岡山縣苫田郡香々美南村大字寺和田二百三番地 藤岡繁太郎
同縣同郡同村大字香々美四百六十一番地 中島 幹
同縣同郡同村大字澤田一番地 田淵浜治郎
同所五百八十四番地 大塚直三郎
十 存立ノ時期 十五箇年

右明治四十二年七月九日登記

津山區裁判所大野出張所

名稱、無限責任荒田戊申信用組合 組織、無限責任 事務所、鳥取縣日野郡神奈川村大字武庫村二十三番屋敷 目的、組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ貯金ノ便ヲ與フ 設立許可ノ年月日、明治四十二年五月二十四日 出資一口ノ金額、金五圓 出資拂込方法、第一回拂込ハ一口ニ付金五十錢トス以後ノ拂込ハ剩餘金ヨリ拂込ミニ充ツルモノ、外組合員ハ出資ノ各口ニ付毎月末日ニ金十錢以上ヲ拂込ムカ拂ハ出資ノ各口ニ付毎年一月六月ノ各末日ニ金五十錢以上ヲ拂込ムコト 理事ノ氏名住所、鳥取縣日野郡神奈川村大字武庫村二十三番屋敷福島虎市、同縣同郡同村大字同村千三百四十三番地林福重、同縣同郡同村大字同村十番屋敷井上貞一郎、監事ノ氏名住所、鳥取縣日野郡神奈川村大字武庫村十六番屋敷林德三郎同縣同郡同村大字同村九番屋敷樋口久次郎 存立ノ時期、二十箇年

右明治四十二年七月九日登記

溝口區裁判所根雨出張所

産業組合設立登記

産業組合登記簿第一號

一名稱 有限責任與論村購買販賣組合
一組織 有限責任
一事務所 大島郡與論村大字麥屋二十五番戸
一目的 農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却シ及組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物（大島郡販賣組合ニ於テ取扱フ物品ヲ除ク）ヲ販賣スル事
一出資一口ノ金額 金十圓
一出資拂込ノ方法 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年四月末日迄ニ金二圓ヅヽ拂込ムモノトス
一存立時期 明治四十二年六月一日ヨリ明治五十一年五月三十一日迄十箇年トス
一設立許可ノ年月日 明治四十二年五月二十九日
一理事ノ氏名住所
大島郡與論村大字麥屋二十五番戸 林 清重
同郡同村大字同三十番戸 平 惠富
同郡同村大字同百三十四番戸 龍 中興
同郡同村大字同五十五番戸 黒田 正孝
同郡同村大字足戸百九十四番戸 市來 富澄
一監事ノ氏名住所
同郡同村大字立長三千七百二十三番地 益山 政明
同郡同村大字同百三十八番戸 朝岡 實德
大島郡與論村大字茶花百四番戸寄留 龍田佐隆史
同郡同村大字麥屋三十四番戸寄留 川崎 茂助
大島郡與論村大字立長十五番戸 仁禮 利明

右明治四十二年七月二日登記

大島區裁判所茶花出張所

○準禁治産宣告

山形縣東田川郡大和村大字廻舘字舘舍百七十七番地平民農 麻生 孫藏

當區裁判所カ明治四十二年六月二十八日山形縣東田川郡大和村大字廻舘字舘舍百七十七番地麻生いせノ申立ニ因リ明治四十二年七月七日前記ノ者ニ對シ準禁治産ヲ宣告シタル決定ハ明治四十二年七月九日之ヲ本人麻生孫藏ニ送達シタリ

明治四十二年七月九日

酒田區裁判所
判事 井川 武

○公示催告

靜岡縣駿東郡沼津町本町百四十六番地ノ乙平民海員
不在者 中村 直哉
明治十一年二月二十五日生

右ニ對シ父中村九十郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十二年十二月二十四日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ

明治四十二年七月十二日

沼津區裁判所
判事 橋爪 米重

靜岡縣磐田郡龍川村小川十六番地平民農
不在者 內野初太郎
安政六年正月八日生

右ニ對シ利害關係人內野二三郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ不在者ハ明治四十三年一月十五日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ

明治四十二年七月十二日

濱松區裁判所
判事 大橋樹太郎

岡山縣吉備郡水内村大字原四百二十六番地平民汽船乘組員
不在者 土屋森右衛門
明治十九年二月三日生

右不在者ニ對シ實母土屋杉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十三年一月十五日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘシ若シ其届出ヲ爲サヽル時ハ失踪ノ宣告ヲ受クヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ

明治四十二年七月九日

高梁區裁判所
判事 三宅藤一

○失踪宣告

兵庫縣美囊郡細川村ノ内中里村五十一番屋敷平民無職業
不在者 仲上 岩市
明治十一年三月十一日生

右ニ對シ實母もとノ申立ニ因リ明治四十二年七月八日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十二年七月十三日

明石區裁判所
判事 中山直哉